

令和6年
岩手県教育委員会定例会
8月

岩手県教育委員会

令和6年8月 岩手県教育委員会定例会議事日程

令和6年8月19日（月）午後1時30分

第1 会期決定の件

第2 議案第19号 教育委員会の事務に係る点検及び評価に関し議決を求めることについて

（ 教 育 企 画 室 ）

第3 議案第20号 県立学校の設置及び廃止に関し議決を求めることについて

（ 学 校 教 育 室 ）

第4 議案第21号 職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて

（ 服 務 管 理 監 ）

閉会

議案第 19 号

教育委員会の事務に係る点検及び評価に関し議決を求めることについて

教育委員会の事務に係る点検及び評価の結果に関する報告書を別添のとおりとすることについて、議決を求める。

令和 6 年 8 月 19 日提出

岩手県教育委員会教育長 佐 藤 一 男

理由

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 1 項の規定により、教育委員会の事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出しようとするものである。これが、この議案を提出する理由である。

令和5年度
教育委員会事務点検評価報告書
(主要施策の成果に関する説明書)

令和6年8月
岩手県教育委員会

目 次

いわて県民計画（2019～2028）第2期政策推進プラン（令和5年度～令和8年度）の 取組と成果-----	議19-7
I 「健康・余暇」分野-----	議19-17
II 「家族・子育て」分野-----	議19-19
III 「教育」分野-----	議19-21
VII 「歴史・文化」分野-----	議19-24
政策項目No.5 生涯を通じて学び続けられる場をつくります-----	議19-25
政策項目No.6 安心して子どもを生み育てられる環境をつくります-----	議19-28
政策項目No.7 地域やコミュニティにおいて、学校と家庭、住民が協働して 子どもの育ちと学びを支えます-----	議19-30
政策項目No.9 仕事と生活を両立できる環境をつくります-----	議19-32
政策項目No.11 【知育】児童生徒の確かな学力を育みます-----	議19-34
政策項目No.12 【徳育】児童生徒の豊かな人間性と社会性を育みます-----	議19-37
政策項目No.13 【体育】児童生徒の健やかな体を育みます-----	議19-40
政策項目No.14 共に学び、共に育つ特別支援教育を進めます-----	議19-42

政策項目No.15	いじめ問題などに適切に対応し、一人ひとりがお互いを 尊重する学校をつくります-----	議19-44
政策項目No.16	児童生徒が安全に学ぶことができる教育環境の整備や 教職員の資質の向上を進めます-----	議19-47
政策項目No.18	地域に貢献する人材を育てます-----	議19-50
政策項目No.31	ライフスタイルに応じた新しい働き方を通じて、 一人ひとりの能力を発揮できる環境をつくります-----	議19-53
政策項目No.40	世界遺産の保存と活用を進めます-----	議19-55
政策項目No.41	豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が受け継がれる環境を つくり、交流を広げます-----	議19-56
参考資料 1	令和5年度「教育委員会事務点検評価報告書」指標一覧表---	議19-57
	2 いわて県民計画（2019～2028）第2期政策推進プラン 事務事業一覧表-----	議19-65

いわて県民計画（2019～2028）

第2期政策推進プラン（令和5年度～令和8年度）の 取組と成果

岩手県では、平成31年（2019年）3月に、今後10年間を計画期間とする新しい総合計画「いわて県民計画（2019～2028）」を策定し、令和5年3月にこの計画の第2期アクションプランとして、令和5年度から令和8年度までの4年間を対象とした「政策推進プラン」を策定しました。

「政策推進プラン」では、各政策分野における幸福に関連する客観的な指標（いわて幸福関連指標）のほか、政策項目ごとに、取組の「基本方向」、「県が取り組む具体的な推進方策」、「県以外の主体に期待される行動」を示しています。

この報告書は、「いわて県民計画（2019～2028）第2期政策推進プラン」で定めた目標がどれだけ達成できたかという視点で、教育委員会の令和5年度の事務事業の実績を評価したものであり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に定める教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価結果の報告書となるものです。

- ・ いわて県民計画（2019～2028）第2期政策推進プランのうち、教育委員会が所管する政策分野（Ⅲ教育）及び政策項目（政策項目No.5、7、11～16、18）（ただし、他部局関係部分を除く。）並びに他部局が所管する政策分野及び政策項目のうち、教育委員会関係部分について掲載しています。
- ・ いわて幸福関連指標と具体的な推進方策指標の令和5年度実績に基づく「達成度」の考え方は、次のとおりです。

達成度の区分	目標達成率	■達成度 令和5年度にどれくらい達成したかを示す割合 ■目標達成率の計算式 ①通常の指標（現状値から数値を上げる目標） $\frac{(R5 \text{ 実績値} - R3 \text{ 現状値等})}{(R5 \text{ 目標値} - R3 \text{ 現状値等})} \times 100$ ②維持指標等（現状値を維持する目標等） $(R5 \text{ 実績値}) / (R5 \text{ 目標値等}) \times 100$
達成 (A)	100%以上	
概ね達成(B)	80%以上100%未満	
やや遅れ(C)	60%以上80%未満	
遅れ (D)	60%未満	

- ・ 数値を維持することを目標とする指標には、指標名の前に「◆」を表示しています。
- ・ 指標によっては、実績値が確定していない、令和5年度目標値を設定していないなどの理由で、数値や達成度を「-」としている場合があります。

1 位置付け

- (1) 地方自治法第233条第5項の規定に基づき県議会に提出する決算附属書類
- (2) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき県議会に提出する事務の管理・執行状況の点検評価結果報告書

2 内容

「いわて県民計画(2019～2028)」の第2期政策推進プラン(令和5年度～令和8年度)(令和5年3月策定)を対象に、令和3年を基準年度(現状値)として、令和6年3月末時点の各指標の達成度を示すもの。(基準年度から見た年度目標に対する到達度)

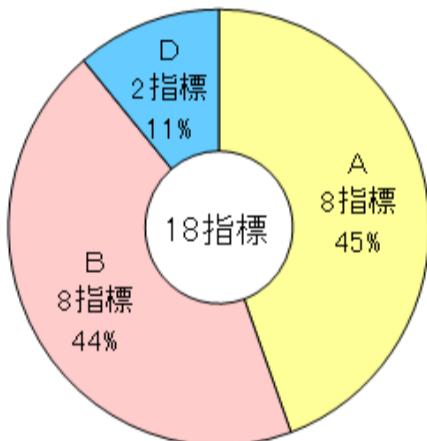
3 政策推進プランの令和5年度の達成状況

- (1) 10の政策分野における幸福に関連する客観的な指標である「いわて幸福関連指標」18(18)*の「概ね達成」以上の割合は89%となりました。〔※指標数の()内は、未測定指標を含む全指標数。(2)に同じ。〕
- (2) 県が主体となって具体的に取り組む「具体的な推進方策」を示した85(87)の指標の「概ね達成」以上の割合は86%となりました。

グラフの見方:「達成【A】」:100%以上、「概ね達成【B】」:80%以上100%未満、「やや遅れ【C】」:60%以上80%未満、「遅れ【D】」:60%未満

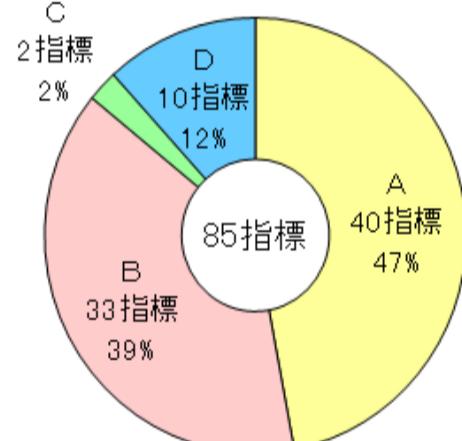
(1) 「いわて幸福関連指標」の達成状況

- ① 「達成【A】」又は「概ね達成【B】」: 16指標(89%)
- ② 「やや遅れ【C】」又は「遅れ【D】」: 2指標(11%)



(2) 「具体的な推進方策指標」の達成状況

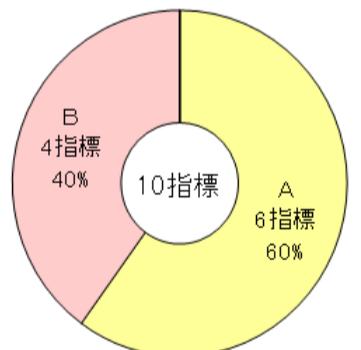
- ① 「達成【A】」又は「概ね達成【B】」: 73指標(86%)
- ② 「やや遅れ【C】」又は「遅れ【D】」: 12指標(14%)



4 教育委員会所管の政策項目の具体的な推進方策の状況

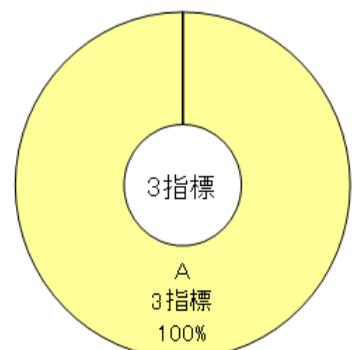
政策項目No.5 生涯を通じて学び続けられる場をつくります

- ① 具体的な推進方策指標10指標は、達成度A、Bが10指標です。
- ② 推進方策「多様な学びのニーズに応じた拠点の充実」では、県民一人ひとりが学びたい時に学べる環境を提供するため、博物館等の県立社会教育施設のハード面、ソフト面の充実を計画的に進め、様々な世代や多様な興味関心など、幅広い学びのニーズに応じた学習機会を提供する拠点づくりを進めました。



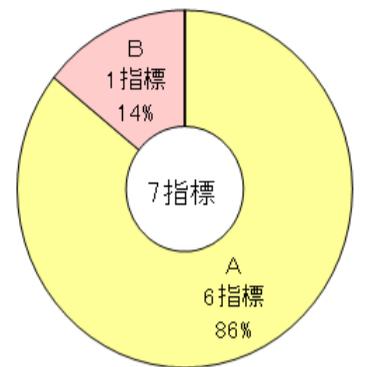
政策項目No.6 安心して子どもを産み育てられる環境をつくります

- ① 具体的な推進方策指標3指標は、達成度Aが3指標です。
- ② 推進方策「家庭教育を支える環境づくりの推進」では、子育てに係る相談窓口の周知と利用促進を図るため、「すこやか子育て相談」のチラシを作成し、関係各所に配布したほか、子育てサポーター等のスキルアップや支援関係者のネットワークづくりによる活動促進を目的に「子育て支援活動交流研修会」を実施し、講演と情報交換を通して、参加者間の交流の機会を創出しました。



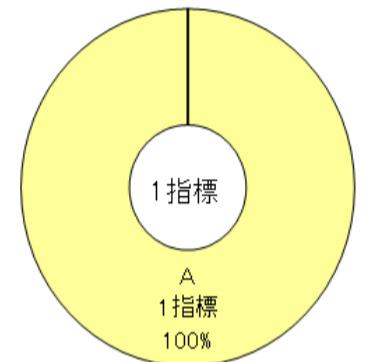
政策項目No.7 地域やコミュニティにおいて、学校と家庭、住民が協働して子どもの育ちと学びを支えます

- ①具体的推進方策指標7指標は、達成度A、Bが7指標です。
- ②推進方策「学校・家庭・地域の連携の仕組みづくり」では、コミュニティ・スクールと連携した地域学校協働活動・教育振興運動の充実や、地域と学校をつなぐコーディネート人材の配置の支援に取り組みました。



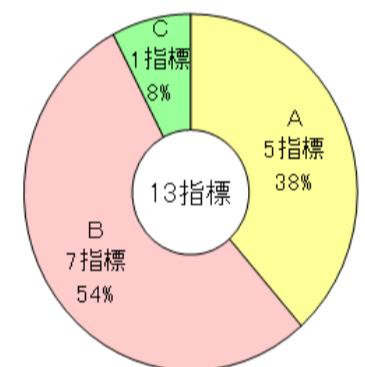
政策項目No.9 仕事と生活を両立できる環境をつくります

- ①具体的推進方策指標1指標は、達成度Aが1指標です。
- ②推進方策「家庭教育を支える環境づくりの推進」では、子育てに係る相談窓口の周知と利用促進を図るため、「すこやか子育て相談」のチラシを作成し、関係各所に配布したほか、子育てサポーター等のスキルアップや支援関係者のネットワークづくりによる活動促進を目的に「子育て支援活動交流研修会」を実施し、講演と情報交換を通して、参加者間の交流の機会を創出しました。【再掲】



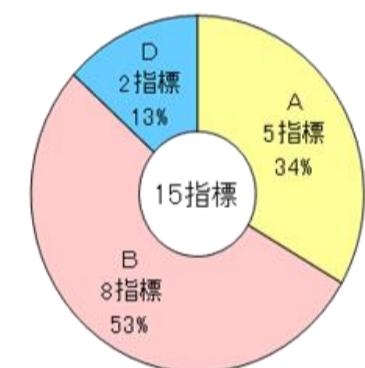
政策項目No.11【知育】児童生徒の確かな学力を育みます

- ①具体的推進方策指標14指標は、実績値が未確定等の1指標を除き、達成度A、Bが12指標、達成度Cが1指標です。
- ②達成度Cの指標は、「諸調査結果や日々の授業から明らかになった児童生徒のつまずきに着目した授業改善を行っている学校の割合(中学生)」「どちらかといえばやっている」という数値を合わせると、97.3%となっておりますが、授業改善に関する取組と成果に関する意識づけが十分ではなかったため)です。



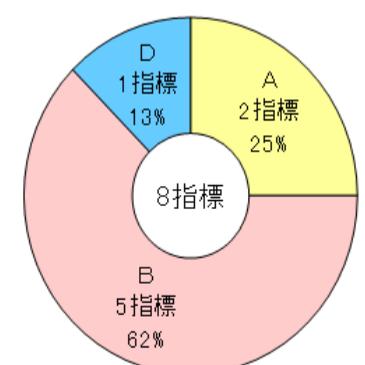
政策項目No.12【徳育】児童生徒の豊かな人間性と社会性を育みます

- ①具体的推進方策指標15指標は、達成度A、Bが13指標、達成度Dが2指標です。
- ②達成度Dの指標は、「様々な文化芸術に触れ、文化芸術に興味をわいたと感じている児童生徒の割合(小学生、中学生)」「(文化芸術に関する鑑賞会等を実施する学校はコロナ禍に比べ増加しましたが、各学校において学校行事を含めた教育課程の見直しが進んでいる中で、伝統芸能活動に取り組む機会が減少するなどの影響があったため)です。



政策項目No.13【体育】児童生徒の健やかな体を育みます

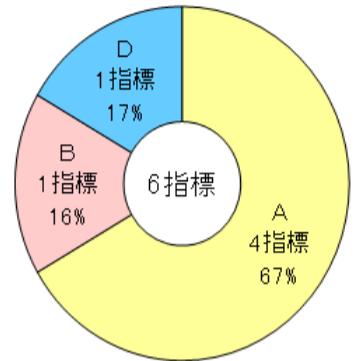
- ①具体的推進方策指標8指標は、達成度A、Bが7指標、達成度Dが1指標です。
- ②達成度Dの指標は、「朝食を毎日食べる児童生徒の割合(中学生)」「(スクリーンタイムの増加などによる生活習慣の変化や朝食摂取の重要性の理解不足、また、家庭の朝食習慣の影響等があったため)です。



4 教育委員会所管の政策項目の具体的な推進方策の状況（つづき）

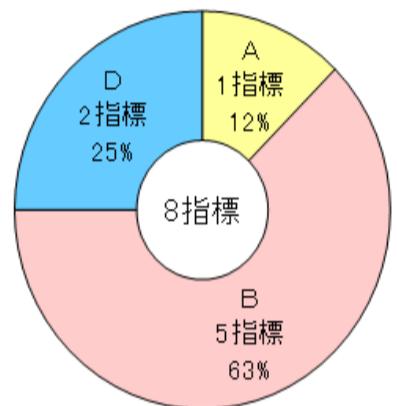
政策項目No.14 共に学び、共に育つ特別支援教育を進めます

- ①具体的推進方策指標6指標は、達成度A、Bが5指標、達成度Dが1指標です。
 ②達成度Dの指標は、「いわて特別支援学校就労サポーター制度への登録企業数」(制度の趣旨や内容に関して企業の理解を得るまでに至らなかったケースも見られたことから、企業登録数は微増にとどまったため)です。



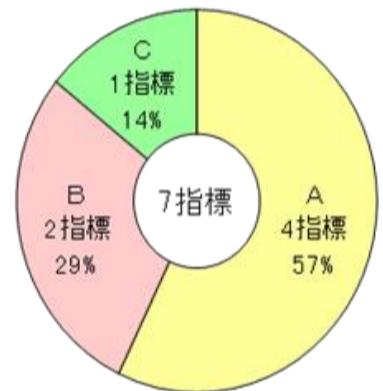
政策項目No.15 いじめ問題などに適切に対応し、一人ひとりがお互いを尊重する学校をつくります

- ①具体的推進方策指標9指標は、実績値が未確定等の1指標を除き、達成度A、Bが6指標、達成度Dが2指標です。
 ②達成度Dの指標は、「学校が楽しいと思う(学校に満足している)児童生徒の割合(小学生・高校生)」(学校生活に対する個々の満足度には多様な要因が影響すると考えられますが、新型コロナウイルス感染症の5類移行後の学校行事の見直しがあったため)です。



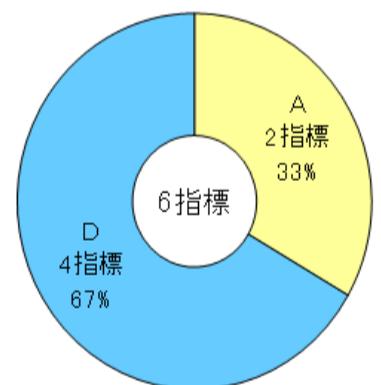
政策項目No.16 児童生徒が安全に学ぶことができる教育環境の整備や教職員の資質の向上を進めます

- ①具体的推進方策指標7指標は、達成度A、Bが6指標、達成度Cが1指標です。
 ②達成度Cの指標は、「教育支援センターを設置している市町村数」(校内教育支援センターで対応している市町村があるほか、人材、設置場所、予算などの検討に時間を要するため、設置に至らない市町村があったため)です。



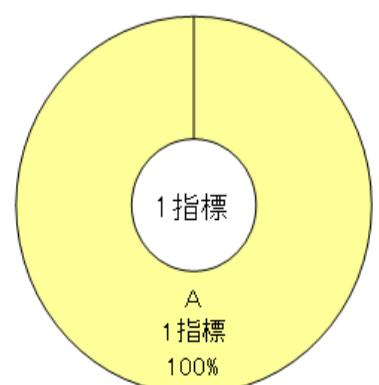
政策項目No.18 地域に貢献する人材を育てます

- ①具体的推進方策指標6指標は、達成度Aが2指標、達成度Dが4指標です。
 ②達成度Dの指標は、「自分の住む地域が好きだと思っている児童生徒の割合(小学生、中学生)」(新型コロナウイルス感染症の影響で縮小・中断していた校外活動などは再開しつつあるものの、児童生徒が地域の良さを認識する学習活動の再構築が十分に進まなかったため)、「中学3年生、高校3年生において求められている英語力を有している生徒の割合(中学生、高校生)」(普段の授業の成果を確実にしたり、英語の学習意欲を高めるような取組や、検定等を受検する機会が十分ではなかったため)です。



政策項目No.31 ライフスタイルに応じた新しい働き方を通じて、一人ひとりの能力を発揮できる環境をつくります

- ①具体的推進方策指標1指標は、達成度Aの指標が1指標です。
 ②推進方策「子育てと仕事の両立を図る家庭への支援」では、放課後子供教室において、子どもたちの「体験活動」の場を提供しました。

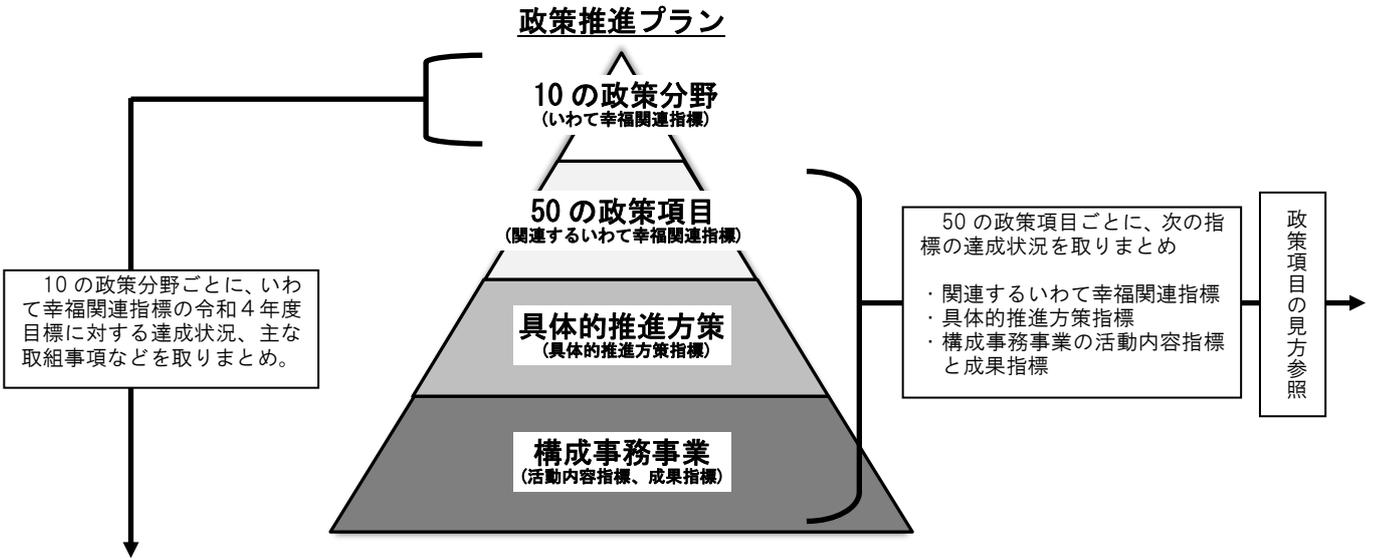


5 教育委員会所管の構成事業の状況

政策項目	活動内容指標（167指標）				成果指標（175指標）			
	A	B	C	D	A	B	C	D
4 幅広い分野の文化芸術に親しみ、生涯を通じてスポーツを楽しむ機会を広げます	3				3			
5 生涯を通じて学び続けられる場をつくります	14	4			11	4	4	
6 安心して子どもを産み育てられる環境をつくります	9	1			19			
7 地域やコミュニティにおいて、学校と家庭、住民が協働して子どもの育ちと学びを支えます	9				8	2		
9 仕事と生活を両立できる環境をつくります	3				3			
11 【知育】 児童生徒の確かな学力を育みます	19				15	5		
12 【徳育】 児童生徒の豊かな人間性と社会性を育みます	8	1	1		11	4		
13 【体育】 児童生徒の健やかな体を育みます	8	2	1	1	8	1	1	1
14 共に学び、共に育つ特別支援教育を進めます	10				8	1		
15 いじめ問題などに適切に対応し、一人ひとりがお互いを尊重する学校をつくります	6	3		1	5	3		
16 児童生徒が安全に学ぶことができる教育環境の整備や教職員の資質の向上を進めます	24	1		1	21	7		1
18 地域に貢献する人材を育てます	25				18	6		1
26 文化芸術・スポーツを生かした地域をつくります	2				2			
40 世界遺産の保存と活用を進めます	3					1		
41 豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が受け継がれる環境をつくり、交流を広げます	4	2			1			
46 安全・安心を支える社会資本を整備します	1							
計	148	14	2	3	133	34	5	3
割合	89%	8%	1%	2%	76%	19%	3%	2%

本書の見方

本書では、いわて県民計画（2019～2028）長期ビジョンに示した10の政策分野と、それを構成する50の政策項目について、各種指標の達成状況や県の取組状況などの情報を掲載しています。



政策分野の見方

III 教育

学びや人づくりによって、
将来に向かって可能性を伸ばし、自分の夢を実現できる岩手

いわて幸福関連指標の達成度

【概要】

- いわて幸福関連指標 16指標は、達成度A、Bの指標が14指標(88%)、達成度Dの指標が2指標(12%)でした。
- ・ いわて幸福関連指標のうち、全国比較が可能な「体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合」は、中学生女子の全国順位が上昇、小学生男子・女子及び中学生男子は下降しました。

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度	参考) 全国順位(東北順位)	比較
19 意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合	%	小 82.5	82.5	82.5	82.6	A	-	-
20 授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合	%	中 85.4	85.4	85.4	83.1	B	-	-
21 授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合	%	小 83.0	83.0	83.0	83.9	A	-	-
22 人が困っているときは、進んで助けようと思ふ児童生徒の割合	%	小 68	70	70	65	B	-	-
23 人が困っているときは、進んで助けようと思ふ児童生徒の割合	%	中 67	68	68	66	B	-	-
24 人が困っているときは、進んで助けようと思ふ児童生徒の割合	%	高 62	70	66	63	D	-	-
25 自己肯定感を持つ児童生徒の割合	%	小 76.4	80.0	78.0	82.0	A	-	-
26 自己肯定感を持つ児童生徒の割合	%	中 76.2	79.0	78.5	79.1	A	-	-
27 体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合	%	小 男子 68.9	70.0	70.0	67.6	B	10位 (2位)	11位 (2位) 下降 (横ばい)
28 体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合	%	小 女子 79.1	80.0	80.0	77.3	B	8位 (2位)	9位 (2位) 下降 (横ばい)
29 体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合	%	中 男子 74.8	75.0	75.0	72.7	B	5位 (2位)	6位 (2位) 下降 (横ばい)
30 体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合	%	中 女子 88.8	90.0	90.0	85.8	B	7位 (1位)	6位 (1位) 上昇 (横ばい)
31 特別支援学校が適切な指導・支援を行っていると感じる保護者の割合	%	96.0	96.0	96.0	96.0	A	-	-
32 高卒者の県内就職率	%	74.1	84.5	84.5			教育関連以外のものは非表示としています。	
33 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	%	小 82.1	84.0	83.0	83.8	A	-	-
34 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	%	中 72.8	76.0	73.8	71.8	D	-	-
35 県内大学等卒業者の県内就職率	%	47.0	50.0	48.5			教育関連以外のものは非表示としています。	

○政策分野名
10の政策分野名と政策分野の取組方向を記載

○いわて幸福関連指標の達成度
いわて幸福関連指標の達成度ごとの構成比と指標数を円グラフで表示
※構成比は、端数四捨五入の計算のため、100%にならない場合があります。
○概要
いわて幸福関連指標の達成度の状況などを記載

○いわて幸福関連指標の状況
いわて幸福関連指標の目標値や令和4年度の実績値などを記載

※囲み数字は掲載データの年度を表しています。
※実績値が確定しない等の指標及び順位を測定できない指標は「-」と表示しています。

○全国順位（東北順位）
いわて幸福関連指標の、全国順位・東北順位とR3現状値との比較を記載

○10の政策分野に対応するいわて幸福関連指標の状況
 いわて幸福関連指標の指標名、目標値や令和5年度の目標に対する達成度などを記載

【達成度の計算式】

- ・通常の指標（R3 現状値等から数値を上げる目標）
 $(R5 \text{実績値} - R3 \text{現状値等}) / (R5 \text{目標値} - R3 \text{現状値等}) \times 100$
 - ・マイナス指標（R3 現状値から数値を下げる目標）
 $(R3 \text{現状値等} - R5 \text{実績値}) / (R3 \text{現状値等} - R5 \text{目標値}) \times 100$
 - ・維持指標等（R3 現状値を維持する目標等）
 $(R5 \text{実績値}) / (R5 \text{目標値}) \times 100$ 又は $(R5 \text{目標値}) / (R5 \text{実績値}) \times 100$
- ※ なお、累計指標のうち、この計算式により難しい場合は、次の計算式により算出しています。
 $(R5 \text{実績値}) / (R5 \text{目標値}) \times 100$

【特記事項】

- ・人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合（高校生）：各学校で教育活動全体を通じた道徳教育を推進する中で、人が困っているときは進んで助けようと思っている生徒の割合は増加傾向にあるものの、生徒自身に思いやりの心を強く自覚させるには至りませんでした。
- ・将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合（中学生）：新型コロナウイルス感染症の影響で縮小・中断していた職場体験などは再開しつつあるものの、生徒に将来の夢や目標を実感させる学習活動の再構築が十分に進みませんでした。

○特記事項

達成度がCまたはDとなった「いわて幸福関連指標」に係る取組状況について、指標データ等により説明

【参考指標】

調査項目	単位	現状値 (R3)	R5	備考
学力が全国水準未満の児童生徒の割合	%	小 国語 50	42	-
		小 算数 42	43	-
		中 国語 37	44	-
		中 数学 57	57	-
不登校児童生徒数(千人当たり)	人	小 8.4	-	-
		中 39.6	-	-
		高 19.8	-	-

○参考指標

いわて幸福関連指標を補完するために設定した参考指標の状況

主な取組事項

- 社会ニーズに対応した学習内容の充実などによる生徒の進路実現の推進。
 生徒の希望する進路の実現のため、大学等との連携による探究的な学習の推進や多様な大学入試制度に対応した進学支援の充実、産業界との連携による専門的な知識・技術の取得などに取り組みました。
 また、県内各地域の中核的な高等学校9校において、探究的な学習をSTEAM^{*1}の視点から深める取組を実施しました。
- 学校・家庭・地域が連携した体験活動の推進などを通じた豊かな心の育成。
 教育振興運動と連携した自然体験・奉仕体験・職場体験等への参加促進、放課後子供教室における学習・体験プログラムの実施など、学校・家庭・地域が連携した多様な体験活動の充実に取り組みました。
- 適切な部活動体制の推進。
 令和元年8月策定の「岩手県における部活動の在り方に関する方針（改定版）」を全面的に改定し、令和6年1月に、「岩手県における学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する方針」を策定するとともに、県内及び全国のモデル事業について、情報提供を行いました。
 また、生徒のニーズを踏まえた充実した活動するとともに、顧問教員の負担を軽減するため、スポーツ指導の知見を有する部活動指導員等の外部人材の活用により運営の適正化を図りました。
- 各校種における指導・支援の充実。
 地域における特別支援教育コーディネーター連絡会を県内4地区で開催し、特別支援学校、小中学校、教育事務所及び市町村教育委員会との連携体制の強化に取り組みました。
 また、各教育事務所において、特別支援教育中核コーディネーターを委嘱し、各市町村の実情に応じた特別支援教育体制の整備に取り組みました。
 児童生徒の相互理解が促進されるよう、「交流箱^{*2}」を活用した特別支援学校と小中学校の児童生徒の交流及び共同学習に取り組みました。

○主な取組事項

10の政策分野ごとに取り組んだ主な内容を取りまとめて記載

政策項目の見方

Ⅲ 教育

12 【徳育】児童生徒の豊かな人間性と社会性を育みます

（基本方向）

児童生徒一人ひとりが、自他の生命（いのち）を大切に、人権を尊重する心や良好な人間関係を構築できる協調性を育むため、多様な価値観を認め合う機会や教育振興運動と連携した他者との協働活動等の充実により、これからの社会における多様性や様々な課題等に対応した道徳教育及び人権教育を進めるとともに、家庭や地域との協働によるボランティア活動や読書活動の充実により、思いやりの心や感動する心を育成します。

また、生涯にわたり心豊かに生活する基盤をつくるため、文化芸術活動等の鑑賞・体験の機会の充実や、文化部活動の活性化により、学校における文化芸術教育を推進します。

さらに、主体的に社会の形成に参画する態度を養うため、主権者教育や消費者教育などの推進により、主権者としての自覚と政治的教養の育成や、自立した消費者として合理的に意思決定できる力などを育成します。

【概要】

○ 政策項目に関連するいわて幸福関連指標 5 指標は、達成度 A、B の指標が 4 指標（80%）、達成度 D の指標が 1 指標（20%）でした。

・ 具体的推進方策指標 15 指標は、達成度 A、B の指標が 13 指標（87%）、達成度 D の指標が 2 指標（13%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度	参考) 全国順位(東北順位)		
							R3	R5	比較
23 人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合	%	小 68	70	70	65	B	-	-	-
24		中 67	68	68	66	B	-	-	-
25		高 62	70	66	63	D	-	-	-
26 自己肯定感を持つ児童生徒の割合	%	小 76.4	80.0	78.0	82.0	A	-	-	-
27		中 76.2	79.0	78.5	79.1	A	-	-	-

【特記事項】

・ 人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合（高校生）：各学校で教育活動全体を通じた道徳教育を推進する中で、人が困っているときは進んで助けようと思っている生徒の割合は増加傾向にあるものの、生徒自身に思いやりの心を強く自覚させるには至りませんでした。

【参考指標】

調査項目	単位	現状値 (R3)	R5	備考
12	人	小 8.4	-	-
13		中 39.6	-	-
14		高 19.8	-	-

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
<p>具体的推進方策指標 15 指標は、達成度 A、B の指標が 13 指標（87%）、達成度 D の指標が 2 指標（13%）でした。</p>	<p>○説明 具体的推進方策指標の達成度の状況などを記載</p>

○具体的推進方策指標の達成度

政策項目ごとの具体的推進方策指標の達成度の構成比と指標数を円グラフで表示 ※構成比は、端数四捨五入の計算のため、100%にならない場合があります。

【達成度の計算式】

- ・ 通常の指標 (R3 現状値等から数値を上げる目標)
(R5 実績値 - R3 現状値) / (R5 目標値 - R3 現状値) × 100
 - ・ マイナス指標 (R3 現状値等から数値を下げる目標)
(R3 現状値 - R5 実績値) / (R3 現状値 - R5 目標値) × 100
 - ・ 維持指標 (R3 現状値等を維持する目標)
(R5 実績値) / (R5 目標値) × 100 又は (R5 目標値) / (R5 実績値) × 100
- ※ 累計指標のうち、この計算式により難しい場合は、次の計算式により算出しています。
(R5 実績値) / (R5 目標値) × 100

○政策分野名
10 の政策分野名を記載

○政策項目名
50 の政策項目名を記載

○政策項目の基本方向
政策項目に関して取り組む基本方向を記載

○概要
政策項目に関連するいわて幸福関連指標及び具体的推進方策指標の達成度の状況などを記載

○いわて幸福関連指標の状況
政策項目に関連するいわて幸福関連指標の目標値や令和 5 年度の実績値などを記載

○全国順位（東北順位）
いわて幸福関連指標の、全国順位・東北順位と R3 現状値との比較を記載

○特記事項
政策項目の取組状況について、指標データ等により説明

○参考指標
参考指標の状況を記載

※ 困み数字は掲載データの年度を表しています。
※ 実績値が確定しない等の指標及び順位を測定できない指標は「-」と表示しています。

(3) 学校における文化芸術教育の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R3)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度
様々な文化芸術に触れ、文化芸術に興味をわいたと感じている児童生徒の割合	%	小 69	75	72	69	D
		中 65	72	69	64	D
		高 68	86	77	76	B

【特記事項】

・ 様々な文化芸術に触れ、文化芸術に興味をわいたと感じている児童生徒の割合（小学生、中学生）：文化芸術に関する鑑賞会等を実施する学校はコロナ禍に比べ増加したものの、各学校において学校行事を含めた教育課程の見直しが進んでいる中で、伝統芸能活動に取り組む機会が減少するなどの影響がありました。

◆推進方策を構成する事業の状況（前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照）

事業数	投入コスト(百万円)		決算額の財源内訳				活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
							3	1	1	0	7	1	0	0
5	70	61	12	2	0	47	(60%)	(20%)	(20%)	(0%)	(88%)	(12%)	(0%)	(0%)

○具体的推進方策名
「政策項目の基本方向」の実現に向け、県が主体となって取り組む具体的な推進方策名を記載

○具体的推進方策指標の状況
具体的推進方策指標の目標値や令和3年度の値などを記載

○特記事項
具体的な推進方策の取組状況について、指標データ等により説明

○推進方策を構成する事業の状況
具体的な推進方策を構成する事務事業の数、県が実施した具体的な推進方策に係る投入コスト（R5実績）、活動内容指標及び成果指標の達成度について掲載を記載

- ・ 事業数
推進方策を構成する事業数を記載
- ・ 予算額
5年度最終予算額を記載
- ・ 決算額
5年度決算額を記載（財源内訳も記載）
- ・ 活動内容指標
事業の活動内容を示す指標
達成度＝実績値/計画値×100
- ・ 成果指標
事業の成果を示す指標
達成度＝実績値/目標値×100

※投入コストは、端数四捨五入の計算のため、事業数又は財源の内訳は、合計と一致しない場合があります。
※達成度の構成比は、端数四捨五入の計算のため、100%にならない場合があります。
※個別事業の詳細は巻末一覧表に掲載

3 その他（指標以外の状況など）

◎ 県民意識調査の結果

・ 令和6年県民意識調査によると、「人間性豊かな子どもの育成」の重要度は9位、満足度は19位となり、ニーズ度は17位となっています。

○その他
指標以外の動向について、県民意識調査結果及び政策項目の基本方向に対する特徴的な動きなど、当該政策項目を取り巻く状況について記載

参考1：達成度の判定区分

目標達成率	100%以上	80%以上 100%未満	60%以上 80%未満	60%未満
達成度	達成【A】	概ね達成【B】	やや遅れ【C】	遅れ【D】

※ 実績値が未確定等の場合は「-」と表示しています。

※ 具体的推進方策指標と事務事業の成果指標が同じ場合がありますが、両者の計算式は異なる（具体的推進方策指標はR3現状値を踏まえ計算しているが、事務事業の成果指標はR5の実績値と目標値のみから計算）ため、達成度の評価が同一とならない場合があります。

参考2：本説明書で用いる記号

○ 指標名等で用いる記号

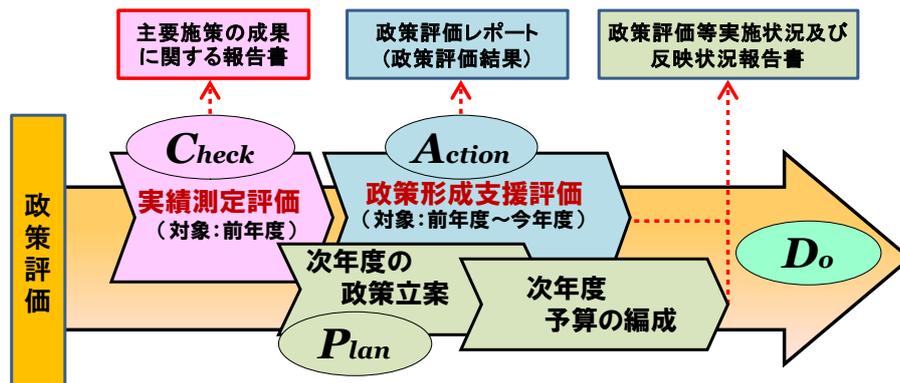
「▼」：R3現状値から数値を下げることを目標とする指標（マイナス指標）

「◆」：R3現状値等を維持することを目標とする指標（維持指標）

（記号を付していないものは、主にR3現状値から数値を上げることを目標とする指標（通常の指標）を示す。）

参考3：本書の位置付けについて

本報告書は政策評価のマネジメントサイクルのうち、「実績測定評価」部分の結果を取りまとめたものです。本報告書の内容を踏まえ、年度後半に実施する「政策形成支援評価」において、今回の指標達成状況と併せ、社会経済情勢等も含めた詳細な分析を行い、政策推進プランの施策に反映させていきます。

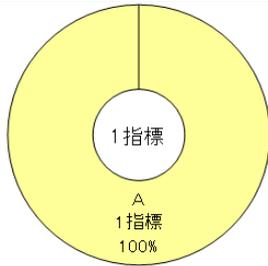


健康・余暇

健康寿命が長く、いきいきと暮らすことができ、

また、自分らしく自由な時間を楽しむことができる岩手

いわて幸福関連指標の達成度



【概要】

- いわて幸福関連指標1指標は、達成度 A の指標が1指標（100%）でした。

いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							R3	R5	比較
1 健康寿命[平均自立期間]	年	男性 ② 80.03	⑦ 81.00	④ 80.42	教育関連以外のものは非表示としています。				
2		女性 ② 84.59	⑦ 85.41	④ 84.92					
3 がん、心疾患及び脳血管疾患で死亡する人数[10万人当たり]	人	男性 ② 283.4	⑦ 245.8	④ 266.6					
4		女性 ② 154.5	⑦ 120.9	④ 131.9					
5 自殺者数[10万人当たり]	人	16.2	14.6	15.0					
6 75歳以上85歳未満高齢者の要介護認定率	%	12.3	11.3	11.9					
7 訪問診療(歯科含む)・看護を受けた患者数[10万人当たり]	人	② 6,508	⑦ 7,210	④ 6,781					
8 余暇時間[一日当たり]※1	分	372	382	382					
9 県内の公立文化施設における催事数※2	件	—	1,471	1,223					
10 スポーツ実施率	%	② 65.4	⑦ 70.0	④ 67.2					
11 生涯学習に取り組んでいる人の割合	%	46.1	50.0	47.0					

※1 休日を含む1週間の平均

※2 岩手県内公立文化施設協議会加盟施設のうち、各市所在の主な14施設の催事数

【参考指標】

調査項目	単位	現状値 (R3)	R5	備考
1 健康寿命[日常生活に制限のない期間]	年	男性 ① 71.39	教育関連以外のものは非表示としています。	3年ごとの公表
		女性 ① 74.69		3年ごとの公表
3 喫煙率	%	① 20.9		3年ごとの公表

主な取組事項

■ 多様な学習機会の充実

県立生涯学習推進センターを活用し、生涯学習・社会教育関係職員や指導者・ボランティアを対象とした地域づくりに関する研修や交流機会の提供等を行ったほか、岩手県生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」をリニューアルし、ICTを活用した学習情報提供の仕組みの充実に取り組みました。

■ 岩手ならではの学習機会の提供

県民一人ひとりの郷土に対する誇りや愛着を醸成するため、社会教育施設等において、県の豊かな自然、文化、歴史等の資源をテーマとした講座を開催し、学習機会の提供に取り組みました。

また、東日本大震災津波や防災を含む今日的な課題について、学び・探究等を支援するため、県立図書館において、新たに震災・防災等の学び合いスペース「I-ルーム」を開設し、県民への啓発及び県内外への情報発信に資する拠点づくりに取り組みました。

■ 学びと活動の循環による地域の活性化

「地域とともにある学校づくり」を推進するフォーラムや「学校を核とした地域づくり」に向けた研修会を開催し、コミュニティ・スクール^{※1}の導入・充実と教育振興運動や地域学校協働活動への参加促進に取り組みました。

■ 社会教育の中核を担う人材の育成

県民の生涯を通じた学習活動を支援するため、社会教育関係者や地域づくり関係者、地域学校協働活動推進員などを対象とした研修会の開催や実践交流などを通じた指導者相互のネットワーク化の推進や、ICT機器の貸出・サポート等のICTのさらなる活用などにより、社会教育の中核を担う人材の育成に取り組みました。

■ 多様な学びのニーズに応じた拠点の充実

県民一人ひとりが学びたい時に学べる環境を提供するため、博物館等の県立社会教育施設のハード面、ソフト面の充実を計画的に進め、様々な世代や多様な興味関心など、幅広い学びのニーズに応じた学習機会を提供する拠点づくりを進めました。

市町村が設置する公民館等の学びの拠点の発展のため、ニーズに応じた事業支援や優れた活動の周知・交流を積極的に進めました。

【用語解説】

※1 コミュニティ・スクール：学校運営協議会を設置する学校のこと、学校と保護者や地域の人々がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることにより、連携・協働しながら子どもたちの豊かな成長を支える仕組み。

II 家族・子育て

家族の形に応じたつながりや支え合いが生まれ、

また、安心して子育てをすることができる岩手

いわて幸福関連指標の達成度

教育関連以外のものは非表示としています。

いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							R3	R5	比較
12 合計特殊出生率		1.30	1.58	1.35					
13 待機児童数[4月1日時点]	人	12	0	0					
14 地域の行事に参加している生徒の割合[中学生]	%	62.9	64.0	64.0					
15 総実労働時間[年間]	時間	1,761.6	1,633.0	1,710.1					
16 共働き世帯の男性の家事時間割合[週平均]*	%	39.2	50.0	42.5					
17 犬、猫の返還・譲渡率	%	犬 100	100	100					
18 猫 98.8		100	99.1						

※ 女性の家事時間に対する割合

【参考指標】

調査項目	単位	現状値 (R3)	R5	備考
4 共働き男性の家事時間	分	125		-
5 共働き女性の家事時間	分	319		-
6 50歳時未婚率	%	男性 ② 29.61		5年ごとの公表
7		女性 ② 16.70		5年ごとの公表

主な取組事項

■ 家庭教育を支える環境づくりの推進

子育てに係る相談窓口の周知と利用促進を図るため、「すこやか子育て相談」のチラシを作成し、関係各所に配布しました。

また、子育てサポーター等のスキルアップや支援関係者のネットワークづくりによる活動促進を目的に「子育て支援活動交流研修会」を実施し、講演と情報交換を通して、参加者間の交流の機会を創出しました。

■ 学校・家庭・地域の連携の仕組みづくり

コミュニティ・スクールと連携した地域学校協働活動・教育振興運動の充実や、地域と学校をつなぐコーディネーター人材の配置の支援に取り組みました。

■ 豊かな体験活動の充実

児童生徒が日常的に利用する放課後子供教室等による学習や多様な体験活動、社会教育施設等を活用した自然体験活動など、子どもたちの学習の場や体験活動の場の提供に取り組みました。

■ 県民と協働した特別支援教育体制づくりの推進

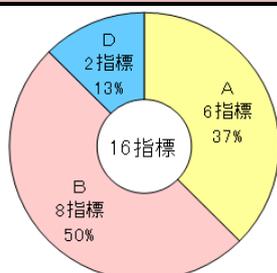
地域ぐるみで特別支援教育を支援する体制を構築するため、授業の補助や学校生活の支援を行う特別支援教育サポーターの養成に取り組みました。

III 教育

学びや人づくりによって、

将来に向かって可能性を伸ばし、自分の夢を実現できる岩手

いわて幸福関連指標の達成度



【概要】

- いわて幸福関連指標 16 指標は、達成度A、Bの指標が 14 指標 (87%)、達成度Dの指標が2指標 (13%) でした。
- ・ いわて幸福関連指標のうち、全国比較が可能な「体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合」は、中学生女子の全国順位が上昇、小学生男子・女子及び中学生男子は下降しました。

いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							R3	R5	比較
19 意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合	%	小 82.5	82.5	82.5	82.6	A	-	-	-
20		中 85.4	85.4	85.4	83.1	B	-	-	-
21 授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合	%	小 83.0	83.0	83.0	83.9	A	-	-	-
22		中 83.5	83.5	83.5	82.9	B	-	-	-
23 人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合	%	小 68	70	70	65	B	-	-	-
24		中 67	68	68	66	B	-	-	-
25		高 62	70	66	63	D	-	-	-
26 自己肯定感を持つ児童生徒の割合	%	小 76.4	80.0	78.0	82.0	A	-	-	-
27		中 76.2	79.0	78.5	79.1	A	-	-	-
28 体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合	%	小 男子 68.9	70.0	70.0	67.6	B	10 位 (2 位)	11 位 (2 位)	下降 (横ばい)
29		小 女子 79.1	80.0	80.0	77.3	B	8 位 (2 位)	9 位 (2 位)	下降 (横ばい)
30		中 男子 74.8	75.0	75.0	72.7	B	5 位 (2 位)	6 位 (2 位)	下降 (横ばい)
31		中 女子 88.8	90.0	90.0	85.8	B	7 位 (1 位)	6 位 (1 位)	上昇 (横ばい)
32 特別支援学校が適切な指導・支援を行っていると感じる保護者の割合	%	96.0	96.0	96.0	96.0	A	-	-	-
33 高卒者の県内就職率	%	74.1	84.5	84.5	教育関連以外のものは非表示としています。				
34 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	%	小 82.1	84.0	83.0	83.8	A	-	-	-
35		中 72.8	76.0	73.8	71.8	D	-	-	-
36 県内大学等卒業者の県内就職率	%	47.0	50.0	48.5					

【特記事項】

- ・ 人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合 (高校生) : 各学校で教育活動全体を通じた道徳教育を推進する中で、人が困っているときは進んで助けようと思っている生徒の割合は増加傾向にあるものの、生徒自身に思いやりの心を強く自覚させるには至りませんでした。
- ・ 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 (中学生) : 新型コロナウイルス感染症の影響で縮小・中断していた職場体験などは再開しつつあるものの、生徒に将来の夢や目標を実感させる学習活動の再構築が十分に進みませんでした。

【参考指標】

調査項目	単位	現状値 (R3)	R5	備考
学力が全国水準未満の児童生徒の割合	%	小 国語 50	42	-
		小 算数 42	43	-
		中 国語 37	44	-
		中 数学 57	57	-
不登校児童生徒数[千人当たり]	人	小 8.4	-	-
		中 39.6	-	-
		高 19.8	-	-

主な取組事項

■ 社会ニーズに対応した学習内容の充実などによる生徒の進路実現の推進

生徒の希望する進路の実現のため、大学等との連携による探究的な学習の推進や多様な大学入試制度に対応した進学支援の充実、産業界との連携による専門的な知識・技術の取得などに取り組みました。

また、県内各地域の中核的な高等学校9校において、探究的な学習をSTEAM^{*1}の視点から深める取組を実施しました。

■ 学校・家庭・地域が連携した体験活動の推進などを通じた豊かな心の育成

教育振興運動と連携した自然体験・奉仕体験・職場体験等への参加促進、放課後子供教室における学習・体験プログラムの実施など、学校・家庭・地域が連携した多様な体験活動の充実に取り組みました。

■ 適切な部活動体制の推進

令和元年8月策定の「岩手県における部活動の在り方に関する方針（改定版）」を全面的に改定し、令和6年1月に、「岩手県における学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する方針」を策定するとともに、県内及び全国のモデル事業について、情報提供を行いました。

また、生徒のニーズを踏まえた充実した活動にするとともに、顧問教員の負担を軽減するため、スポーツ指導の知見を有する部活動指導員等の外部人材の活用により運営の適正化を図りました。

■ 各校種における指導・支援の充実

地域における特別支援教育コーディネーター連絡会を県内4地区で開催し、特別支援学校、小中学校、教育事務所及び市町村教育委員会との連携体制の強化に取り組みました。

また、各教育事務所において、特別支援教育中核コーディネーターを委嘱し、各市町村の実情に応じた特別支援教育体制の整備に取り組みました。

児童生徒の相互理解が促進されるよう、「交流籍^{*2}」を活用した特別支援学校と小中学校の児童生徒の交流及び共同学習に取り組みました。

■ いじめ防止対策の推進といじめ事案への適切な対処

県立学校において、1人1台端末等を利用した教育相談「こころの相談室」を開設し、悩みや不安を抱える児童生徒がいつでも相談できる体制の構築に取り組みました。

■ 児童生徒に寄り添った教育相談体制の充実等による、不登校対策の推進

学校の教育相談体制の充実を図るために、各教育事務所にエリア型のスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを配置し、指導主事との情報共有や関係機関等との連携を図るなど、きめ細かな対応を通して児童生徒の心のサポートに取り組みました。

また、24時間子供SOSダイヤルのほか、県立学校において1人1台端末等を利用した教育相談「こころの相談室」を設置し、学校内外における相談窓口の周知に努めました。

不登校児童生徒支援連絡会議を開催し、教育支援センターやフリースクール等民間団体等の様々な関係機関と連携を図るなど、不登校児童生徒の教育機会の確保に取り組みました。

■ 安全でより良い教育環境の整備

登下校時の通学路の安全体制確保のため、教育委員会、学校、PTA、道路管理者、警察等により実施した合同点検の結果、対策が必要とされた箇所について、通学路の整備や変更等の推進に取り組みました。

また、スクールガード・リーダー等による見守り活動や関係機関と連携した交通安全教室、防犯教室に取り組みました。

生徒にとってより良い教育環境の充実を図るため、「新たな県立高等学校再編計画後期計画」に基づく取組を着実に推進するとともに、次期県立高等学校再編計画の策定に向けた県立高校の在り方の検討に取り組みました。

■ 魅力ある学校づくりの推進

学校と地元自治体や企業、高等教育機関等との連携・協働を進める場であるコンソーシアムの設置を推進するとともに、地域等と協働して策定したスクール・ポリシー^{※3}に基づく教育活動の充実に取り組みました。

■ 教育への情熱と高い志を持つ有為な人材の確保・育成、資質向上

県内外の大学訪問やオンライン説明会の開催により、県が求める教員像や教職の魅力・やりがいについての情報発信に取り組みました。

また、教員が意欲をもって働き続けることができるように、「岩手県教職員働き方改革プラン（2024～2026）」を策定し、持続可能な勤務環境の整備に取り組みました。

県内の学校の欠員状況を改善するため、教員免許を所有しながらも、教職に就いたことのない方々を対象に、ペーパーティーチャー説明会・研修会を開催し、本県の教員として働くことに関する情報提供をはじめ、参加者同士の情報交換、個別相談、講師登録の手続き方法の説明等を行うなど、教員の成り手の確保に取り組みました。

■ 「いわての復興教育」などの推進

「いわての復興教育^{※4}」プログラムに基づき、各学校が計画した復興教育の取組を支援しました。

また、プログラムに基づく副読本「いきる かかわる そなえる」（改訂版）の活用研修会を開催するなど、「いわての復興教育」の推進に取り組むとともに、その対象を就学前教育に拡大し、継続的な復興教育の推進に向けて絵本を作成しました。

さらに、副読本（高等学校用）と絵本「みんながいるから」の英語版を作成し、県のホームページに掲載することにより、支援いただいた国や地域へ「いわての復興教育」を発信しました。

【用語解説】

※1 STEAM（教育）：教育再生実行会議第11次提言において、「各教科での学習を実社会での問題発見・解決にいかしていくための教科横断的な教育」とされているもの。

※2 交流籍：特別支援学校の小・中学部に在籍する児童生徒が、保護者の希望により、居住地域の小・中学校に置くことのできる副次的な籍のこと。

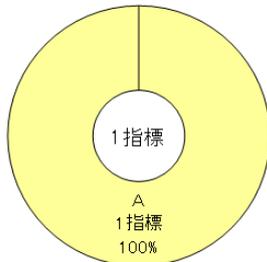
※3 スクール・ポリシー：今後の県立高等学校の在り方、期待される社会的役割等を明確化するため、令和3年10月に策定した「いわての高校魅力化グランドデザイン for 2031」（岩手県立高等学校に関するスクール・ミッション）を踏まえ、各県立高校が策定する3つの方針（育成を目指す資質・能力に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針並びに入学者の受入れに関する方針）。

※4 いわての復興教育：東日本大震災津波の体験を踏まえ、県内全ての学校が、それぞれの実情に応じて取り組むことができる教育プログラムを作成・普及することにより、子どもたち自らの未来を切り拓く力を育むとともに、県内の全ての学校が心を1つにして震災を見つめ、郷土を愛し、いわての復興・発展を担う「ひとづくり」を進めていくための教育。

VII 歴史・文化

豊かな歴史や文化を受け継ぎ、愛着や誇りを育んでいる岩手

いわて幸福関連指標の達成度



【概要】

- いわて幸福関連指標1指標は、達成度Aの指標が1指標（100%）でした。
- ・ いわて幸福関連指標のうち、全国比較が可能な「国、県指定文化財件数」は、全国順位が上昇しました。

いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							R3	R5	比較
64 世界遺産等の来訪者数	千人	417	991	712			教育関連以外のものは非表示としています。		
65 国、県指定文化財件数	件	574	589	580	584	A	31位 (3位)	29位 (3位)	上昇 (横ばい)
66 民俗芸能ネットワーク加盟団体数	団体	393	393	393					

主な取組事項

5 生涯を通じて学び続けられる場をつくります

（基本方向）

生涯を通じて楽しく学ぶことができ、一人ひとりの学びをコミュニティの再生・維持・向上や地域の課題解決に役立てていくため、ICTを活用した学習情報の提供や、令和6年度に60周年を迎える教育振興運動と地域学校協働活動を総合的かつ一体的に推進することにより、学習機会の充実を図り、学びの成果を地域の活性化につなげる仕組みづくりを推進します。

また、県民一人ひとりの郷土に対する誇りや愛着を醸成するため、自然、文化、歴史など、あらゆる資源を学びの対象や場とすることにより、岩手ならではの学びの提供に取り組みます。

さらに、誰もが学びたい時に学べる環境を整備するため、社会教育の中核を担う人材を育成するとともに、多様な学びのニーズに応じた社会教育施設の充実を図ります。

【概要】

- 政策項目に関連するいわて幸福関連指標1指標は、達成度Aの指標が1指標（100%）でした。
- ・ 具体的推進方策指標10指標は、達成度A、Bの指標が10指標（100%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							R3	R5	比較
8 余暇時間[一日当たり]※	分	372	382	382			教育関連以外のものは非表示としています。		
11 生涯学習に取り組んでいる人の割合	%	46.1	50.0	47.0	47.0	A	-	-	-

※ 休日を含む1週間の平均

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
<p>具体的推進方策指標の達成度</p> <p>10指標</p> <p>A 6指標 60%</p> <p>B 4指標 40%</p>	<p>具体的推進方策指標10指標は、達成度A、Bの指標が10指標（100%）でした。</p>

(1) 多様な学習機会の充実

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度
58 生涯学習の推進を支える指導者・ボランティアの人材登録者数	人	885	1,030	940	943	A
59 生涯学習情報提供システム(データベース)利用件数	件	4,166	5,150	4,550	5,329	A
60	%	小 89	90	90	86	B
61 「読書が楽しい」と感じる児童生徒の割合		中 85	85	85	81	B
62		高 84	85	85	82	B

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
3	143	126	55	15	0	56	5 (83%)	1 (17%)	0 (%)	0 (%)	4 (50%)	3 (38%)	1 (12%)	0 (0%)

(2) 岩手ならではの学習機会の提供

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度
63 県立社会教育施設で「岩手」をテーマとした講座の受講者数	人	678	1,200	1,050	1,101	A

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
3	859	852	23	135	0	694	2 (67%)	1 (33%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (67%)	0 (0%)	1 (33%)	0 (0%)

(3) 学びと活動の循環による地域の活性化

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度
64 教育振興運動や地域学校協働活動を推進している市町村・地区の割合【再掲】	%	95.7	95.7	95.7	95.8	A

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
2	118	104	50	0	0	54	4 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(4) 社会教育の中核を担う人材の育成

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度
65 社会教育指導員・地域づくり関係者の資質向上を図る研修会の受講者数	人	107	160	130	126	B

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
1	27	24	4	15	0	5	0 (0%)	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (100%)	0 (0%)

(5) 多様な学びのニーズに応じた拠点の充実

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度
66 県立博物館・県立美術館の企画展における観覧者の満足度の割合	%	91	91	91	95	A
67 県立青少年の家・野外活動センターにおける利用者の満足度の割合	%	-	97	97	99	A

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
4	958	949	23	140	0	786	3 (75%)	1 (25%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (50%)	1 (25%)	1 (25%)	0 (0%)

3 その他(指標以外の状況など)

◎ 県民意識調査の結果

- 令和6年県民意識調査によると、「自分に適した内容や方法で学べる環境」の重要度は49位、満足度は36位となり、ニーズ度は45位となっています。

6 安心して子どもを産み育てられる環境をつくります

（基本方向）

安心して子どもを産み育てられる環境をつくるため、結婚、妊娠、出産、子育て期にわたる切れ目のない支援体制の充実や子育てにやさしい職場づくりを進めます。

また、子どもが、生まれ育った環境に左右されず、安心して学ぶことができるよう、教育の機会を確保するとともに、障がい児とその家族の多様なニーズに対応した地域療育支援体制の一層の充実を図ります。

【概要】

- ・ 具体的推進方策指標 3 指標は、達成度 A の指標が 3 指標でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							R3	R5	比較
12 合計特殊出生率		1.30	1.58	1.35					
13 待機児童数[4月1日時点]	人	12	0	0					

教育関連以外のものは非表示としています。

【参考指標】

調査項目	単位	現状値 (R3)	R5	備考
6 50歳時未婚率	%	男性 ② 29.61	教育関連以外のものは非表示としています。	5年ごとの公表
7		女性 ② 16.70		5年ごとの公表

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
<p>3指標 A 3指標 100%</p>	<p>具体的推進方策指標 3 指標は、達成度 A の指標が 3 指標でした。</p>

(1) 結婚・家庭・子育てに希望を持てる環境づくりの推進

(2) 安全・安心な出産環境の整備

(3) 子育て家庭への支援

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度
76 放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】	%	67.0	90.0	75.0	76.3	A

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
1	117	102	50	0	0	52	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(4) 子どもが健やかに成長できる環境の整備

(5) 障がい児の地域療育支援体制の充実

(6) 家庭教育を支える環境づくりの推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度
88 すこやかメールマガジンの登録人数	人	3,635	6,000	4,500	4,500	A
89 子育てサポーター等を対象とした家庭教育支援に関する研修会の参加者数	人	559	645	615	647	A

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
2	120	105	50	0	0	55	3 (75%)	1 (25%)	0 (0%)	0 (0%)	4 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

3 その他(指標以外の状況など)

◎ 県民意識調査の結果

- 令和6年県民意識調査によると、「安心な子育て環境整備」の重要度は21位、満足度は39位となり、ニーズ度は15位となっています。

7 地域やコミュニティにおいて、学校と家庭、住民が協働して子どもの育ちと学びを支えます

(基本方向)

「地域とともにある学校づくり」や「学校を核とした地域づくり」を実現するため、令和6年度に60周年を迎える教育振興運動と地域学校協働活動を総合的かつ一体的に推進することにより、学校・家庭・地域が連携・協働する仕組みづくりを進めます。

また、子どもたちが放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験活動ができるよう、放課後子供教室等により、地域の実状に応じた子どもの学びの場づくりを支援します。

さらに、特別支援教育に対する県民理解の醸成や参加促進を図るため、特別支援教育サポーターの養成などにより、障がいに関する正しい理解や「共に学び、共に育つ教育」の推進に向けた啓発活動に取り組みます。

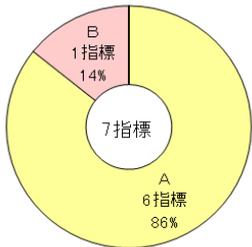
[概要]

- ・ 具体的推進方策指標7指標は、達成度A、Bの指標が7指標（100%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							R3	R5	比較
14 地域の行事に参加している生徒の割合[中学生]	%	62.9	64.0	64.0			教育関連以外のは非表示としています。		

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
 <p>具体的推進方策指標7指標は、達成度A、Bの指標が7指標（100%）でした。</p>	

(1) 学校・家庭・地域の連携の仕組みづくり

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度
90 コミュニティ・スクールを導入している学校の割合	%	19.0	90.0	75.0	79.7	A
91 保護者や地域住民による教育支援活動が行われている学校の割合	%	小 76.9	79.5	78.0	95.9	A
		中 57.8				
93 教育振興運動や地域学校協働活動を推進している市町村・地区の割合	%	95.7	95.7	95.7	95.8	A

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
3	119	104	50	0	0	54	4 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	4 (80%)	1 (20%)	0 (0%)	0 (0%)

(2) 豊かな体験活動の充実

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度
94 放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合	%	67.0	90.0	75.0	76.3	A
96 県立青少年の家・野外活動センターが提供する親子体験活動事業への参加者の満足度の割合	%	-	98	98	99.4	A

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
1	117	102	50	0	0	52	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(3) 県民と協働した特別支援教育体制づくりの推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度
97 特別支援教育サポーターの登録者数【再掲】	人	335	480	390	389	B

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
1	1	1	0	0	0	1	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (50%)	1 (50%)	0 (0%)	0 (0%)

3 その他(指標以外の状況など)

◎ 県民意識調査の結果

- ・ 令和6年県民意識調査によると、「子どもの育ちと学びに関する学校、家庭、地域の連携」の重要度は30位、満足度は22位となり、ニーズ度は34位となっています。

9 仕事と生活を両立できる環境をつくります

(基本方向)

仕事と生活を両立できる環境をつくるため、長時間労働の是正、年次有給休暇の取得率向上等の働き方改革や、育児休業・介護休業制度の普及促進等により、性別を問わず一人ひとりの事情に対応できる、働きやすい職場づくりを推進します。

[概要]

- ・ 具体的推進方策指標 1 指標は、達成度 A の指標が 1 指標（100%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

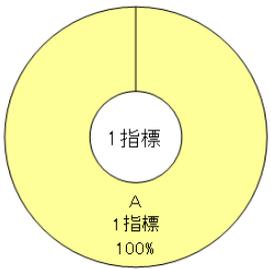
指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							R3	R5	比較
13 待機児童数[4月1日時点]	人	12	0	0					
15 総実労働時間[年間]	時間	1,761.6	1,633.0	1,710.1	教育関連以外のものは非表示としています。				
16 共働き世帯の男性の家事時間割合[週平均]*	%	39.2	50.0	42.5					

* 女性の家事時間に対する割合

【参考指標】

調査項目	単位	現状値 (R3)	R5	備考
4 共働き男性の家事時間	分	125	120	-
5 共働き女性の家事時間	分	319	279	-

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
	<p>具体的推進方策指標 1 指標は、達成度 A の指標が 1 指標（100%）でした。</p>

(1) 働き方改革の取組の推進

(2) 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度
108 放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】	%	67.0	90.0	75.0	76.3	A

◆推進方策を構成する事業の状況（前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照）

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
1	117	102	50	8	0	52	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(3) いきいきと働き続けるための健康づくりの推進

3 その他（指標以外の状況など）

◎ 県民意識調査の結果

- 令和6年県民意識調査によると、「仕事と生活を両立できる環境」の重要度は15位、満足度は46位となり、ニーズ度は7位となっています。

11 【知育】児童生徒の確かな学力を育みます

（基本方向）

将来の予測が困難な時代において、子どもたち一人ひとりに未来の創り手となるために必要な資質・能力が求められていることから、教育におけるDXや学校との地域の「共創」による学びなどを進め、岩手の子どもたちの、主体的に学び他者との協働により学びを深め新たな価値を創造し、地域を活性化する力を育成します。

また、学習指導要領等を着実に実施するとともに、学校、家庭、地域が連携・協働しながら、全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図ります。

【概要】

- 政策項目に関連するいわて幸福関連指標 4 指標は、達成度 A、B の指標が 4 指標（100%）でした。
- ・ 具体的推進方策指標 14 指標は、実績値未確定の 1 指標を除き、達成度 A、B の指標が 12 指標（92%）、達成度 C の指標が 1 指標（8%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	計画目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							R3	R5	比較
19 意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合	%	小 82.5	82.5	82.5	82.6	A	-	-	-
20		中 85.4	85.4	85.4	83.1	B	-	-	-
21 授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合	%	小 83.0	83.0	83.0	83.9	A	-	-	-
22		中 83.5	83.5	83.5	82.9	B	-	-	-

【参考指標】

調査項目	単位	現状値 (R3)	R5	備考
8	%	小 国語 50	42	-
9		小 算数 42	43	-
10		中 国語 37	44	-
11		中 数学 57	57	-

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
<p>具体的推進方策指標の達成度は、達成度 A が 5 指標（38%）、達成度 B が 7 指標（54%）、達成度 C が 1 指標（8%）の 13 指標です。</p>	<p>具体的推進方策指標 14 指標は、実績値未確定の 1 指標を除き、達成度 A、B の指標が 12 指標（92%）、達成度 C の指標が 1 指標（8%）でした。</p>

(1) これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成

◆具体的推進方策指標の状況

指標名		単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度
116	教育課程全体で「話すこと」「書くこと」等の言語活動の充実を図っている学校の割合	%	小 -	53	50	44	B
117			中 -	45	42	39	B
118			高 -	56	53	85	A
119	児童生徒の資質・能力の向上に向けて、「確かな学力育成プラン」に基づいて組織的に取り組んでいる学校の割合	%	小 -	67	64	64	A
120			中 -	56	53	50	B
121	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」をもとに幼児児童の姿を共有し、授業に生かしている小学校の割合	%	-	100	75	80	A
122	授業等でICT機器を活用し、児童生徒にICT活用について指導できる教員の割合	%	78	90	80	-	-

【特記事項】

- ・ 授業等でICT機器を活用し、児童生徒にICT活用について指導できる教員の割合：GIGAスクール運営支援センターによるヘルプデスクの開設及び指導主事やICT支援員等と連携した学校への訪問指導を実施しましたが、国の統計結果が未公表のため、実績値は測定できませんでした。

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
7	64	63	21	5	0	37	9 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	7 (78%)	2 (22%)	0 (0%)	0 (0%)

(2) 児童生徒の実態に応じた授業改善の推進と家庭学習の充実

◆具体的推進方策指標の状況

指標名		単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度
123	諸調査結果や日々の授業から明らかになった児童生徒のつまずきに着目した授業改善を行っている学校の割合	%	小 -	58	52	46	B
124			中 -	48	42	28	C
125			高 -	59	53	79	A
126	学校の宿題だけでなく、自主学習に取り組んでいる児童生徒の割合	%	小 -	66	63	60	B
127			中 -	60	57	53	B
128			高 -	55	52	45	B

【特記事項】

- ・ 諸調査結果や日々の授業から明らかになった児童生徒のつまずきに着目した授業改善を行っている学校の割合(中学校):「どちらかといえばやっている」という数値を合わせると、97.3%となっておりますが、授業改善に関する取組と成果に関する意識づけが十分ではありませんでした。

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
2	13	13	0	1	0	12	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (50%)	1 (50%)	0 (0%)	0 (0%)

(3) 社会ニーズに対応した学習内容の充実などによる生徒の進路実現の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度
129 生徒の進路実現に向け、自校で設定した進路目標を達成できた高校の割合	%	66	70	67	69	A

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
7	78	72	16	15	0	41	8 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	7 (78%)	2 (22%)	0 (0%)	0 (0%)

3 その他(指標以外の状況など)

◎ 県民意識調査の結果

- 令和6年県民意識調査によると、「子どもの学力向上に向けた教育」の重要度は22位、満足度は24位となり、ニーズ度は25位となっています。



12 【徳育】児童生徒の豊かな人間性と社会性を育みます

（基本方向）

児童生徒一人ひとりが、自他の生命（いのち）を大切に、人権を尊重する心や良好な人間関係を構築できる協調性を育むため、多様な価値観を認め合う機会や教育振興運動と連携した他者との協働活動等の充実により、これからの社会における多様性や様々な課題等に対応した道徳教育及び人権教育を進めるとともに、家庭や地域との協働によるボランティア活動や読書活動の充実により、思いやりの心や感動する心を育成します。

また、生涯にわたり心豊かに生活する基盤をつくるため、文化芸術活動等の鑑賞・体験の機会の充実や、文化部活動の活性化により、学校における文化芸術教育を推進します。

さらに、主体的に社会の形成に参画する態度を養うため、主権者教育や消費者教育などの推進により、主権者としての自覚と政治的教養の育成や、自立した消費者として合理的に意思決定できる力などを育成します。

【概要】

- 政策項目に関連するいわて幸福関連指標5指標は、達成度A、Bの指標が4指標（80%）、達成度Dの指標が1指標（20%）でした。
- ・ 具体的推進方策指標15指標は、達成度A、Bの指標が13指標（87%）、達成度Dの指標が2指標（13%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							R3	R5	比較
23 人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合	%	小 68	70	70	65	B	-	-	-
24		中 67	68	68	66	B	-	-	-
25		高 62	70	66	63	D	-	-	-
26 自己肯定感を持つ児童生徒の割合	%	小 76.4	80.0	78.0	82.0	A	-	-	-
27		中 76.2	79.0	78.5	79.1	A	-	-	-

【特記事項】

- ・ 人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合（高校生）：各学校で教育活動全体を通じた道徳教育を推進する中で、人が困っているときは進んで助けようと思っている生徒の割合は増加傾向にあるものの、生徒自身に思いやりの心を強く自覚させるには至りませんでした。

【参考指標】

調査項目	単位	現状値 (R3)	R5	備考
12	人	小 8.4	-	-
13 不登校児童生徒数[千人当たり]		中 39.6	-	-
14		高 19.8	-	-

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
<p>15指標</p> <p>A 5指標 34%</p> <p>B 8指標 53%</p> <p>D 2指標 13%</p>	<p>具体的推進方策指標 15 指標は、達成度A、Bの指標が 13 指標（87%）、達成度Dの指標が 2 指標（13%）でした。</p>

(1) 自他の生命を大切に、人権を尊重する心の育成

◆具体的推進方策指標の状況

指標名		単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度
130	多様な意見を認め合うことに価値を感じている児童生徒の割合	%	小 -	80	77	73	B
131			中 -	84	81	75	B
132			高 -	90	90	86	B

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
2	3	2	2	0	0	0	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(2) 学校・家庭・地域が連携した体験活動の推進などを通じた豊かな心の育成

◆具体的推進方策指標の状況

指標名		単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度
133	学校や地域が行う体験活動に参加し、達成感や有用感をもった児童生徒の割合	%	小 -	88	85	90	A
134			中 -	88	85	88	A
135			高 -	90	90	91	A
136	「読書が楽しい」と感じる児童生徒の割合【再掲】	%	小 89	90	90	86	B
137			中 85	85	85	81	B
138			高 84	85	85	82	B

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
2	1	1	0	0	0	1	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (40%)	3 (60%)	0 (0%)	0 (0%)

(3) 学校における文化芸術教育の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度
139	%	小 69	75	72	69	D
140		中 65	72	69	64	D
141		高 68	86	77	76	B

【特記事項】

- 様々な文化芸術に触れ、文化芸術に興味をわいたと感じている児童生徒の割合（小学生、中学生）：文化芸術に関する鑑賞会等を実施する学校はコロナ禍に比べ増加しましたが、各学校において学校行事を含めた教育課程の見直しが進んでいる中で、伝統芸能活動に取り組む機会が減少するなどの影響がありました。

◆推進方策を構成する事業の状況（前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照）

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
4	67	58	12	2	0	44	2 (50%)	1 (25%)	1 (25%)	0 (0%)	6 (86%)	1 (14%)	0 (0%)	0 (0%)

(4) 主権者教育などによる社会に参画する力の育成

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度
142	%	小 ー	86	84	86	A
143		中 ー	86	84	88	A
144		高 ー	86	83	82	B

◆推進方策を構成する事業の状況（前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照）

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
1	2	2	2	0	0	0	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

3 その他（指標以外の状況など）

◎ 県民意識調査の結果

- 令和6年県民意識調査によると、「人間性豊かな子どもの育成」の重要度は9位、満足度は19位となり、ニーズ度は17位となっています。

13 【体育】児童生徒の健やかな体を育みます

（基本方向）

児童生徒一人ひとりが自らの体力や健康に関心を持ち、生涯を通じて健康で活力ある生活を送ることができるよう、家庭や地域などと連携し、「よりよい運動習慣」「望ましい食習慣」「規則正しい生活習慣」の形成による健康の保持・増進に向けて、各習慣を相互に関連付けた一体的な取組を推進します。

また、「岩手県における部活動の在り方に関する方針」に基づき、適切な部活動の推進に取り組みます。

【概要】

- 政策項目に関連するいわて幸福関連指標4指標は、達成度Bの指標が4指標（100%）でした。
- ・ 具体的推進方策指標8指標は、達成度A、Bの指標が7指標（87%）、達成度Dの指標が1指標（13%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							R3	R5	比較
28	%	小 男子 68.9	70.0	70.0	67.6	B	10位 (2位)	11位 (2位)	下降 (横ばい)
29		小 女子 79.1	80.0	80.0	77.3	B	8位 (2位)	9位 (2位)	下降 (横ばい)
30		中 男子 74.8	75.0	75.0	72.7	B	5位 (2位)	6位 (2位)	下降 (横ばい)
31		中 女子 88.8	90.0	90.0	85.8	B	7位 (1位)	6位 (1位)	上昇 (横ばい)

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
<p>A 2指標 25% B 5指標 62% D 1指標 13%</p>	<p>具体的推進方策指標8指標は、達成度A、Bの指標が7指標（87%）、達成度Dの指標が1指標（13%）でした。</p>

(1) 児童生徒の健康の保持・増進に向けた対策の充実

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度
145 運動やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合	%	86	89	89	88	B
146 朝食を毎日食べる児童生徒の割合	%	小 96.6	97.0	97.0	96.0	B
		147 中 89.2	93.0	90.0	87.4	D
148 毎日一定の時刻に就寝する児童生徒の割合	%	小 84.7	85.0	85.0	83.9	B
		149 中 84.6	85.0	85.0	84.4	B
150 喫煙飲酒の指導を含めた「薬物乱用防止教室」を開催している小学校の割合	%	89.9	100	100	93.3	B

【特記事項】

- 朝食を毎日食べる児童生徒の割合（中学生）：スクリーンタイムの増加などによる生活習慣の変化や朝食摂取の重要性の理解不足、また、家庭における朝食習慣の影響等が考えられ、目標を達成することはできませんでした。

◆推進方策を構成する事業の状況（前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照）

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
5	6	5	2	1	0	2	3 (50%)	2 (33%)	0 (0%)	1 (17%)	4 (67%)	0 (0%)	1 (17%)	1 (17%)

(2) 適切な部活動体制の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度
151 部活動の活動方針について、学校、保護者、外部指導者等が、共通理解を図る部活動連絡会等の機会を持っている学校の割合	%	中 86.6	100	89.0	93.8	A
152 高 93.1		100	95.0	98.4	A	

◆推進方策を構成する事業の状況（前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照）

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
6	158	135	12	16	0	107	5 (83%)	0 (0%)	1 (17%)	0 (0%)	4 (80%)	1 (20%)	0 (0%)	0 (0%)

3 その他（指標以外の状況など）

◎ 県民意識調査の結果

- 令和6年県民意識調査によると、「子どもの体力向上や心身の健康保持」の重要度は23位、満足度は11位となり、ニーズ度は32位となっています。

14 共に学び、共に育つ特別支援教育を進めます

（基本方向）

特別な支援を必要とする児童生徒一人ひとりの自立や社会参加を目指し、切れ目のない支援が行われるよう、「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」の作成・活用などにより、就学前から卒業後までの一貫した支援を充実します。

また、全ての児童生徒が地域の学校で共に学ぶことができるよう、通級による指導や特別支援学級での指導の充実などにより、一人ひとりの教育的ニーズに対応するとともに、教職員の専門性の向上を図ります。

さらに、共生社会の形成に向け、県民向け公開講座の実施や特別支援教育サポーターの養成など、県民と協働した特別支援教育の体制づくりを推進します。

【概要】

- 政策項目に関連するいわて幸福関連指標 1 指標は、達成度 A の指標が 1 指標（100%）でした。
- ・ 具体的推進方策指標 6 指標は、達成度 A、B の指標が 5 指標（83%）、達成度 D の指標が 1 指標（17%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							R3	R5	比較
32 特別支援学校が適切な指導・支援を行っていると感じる保護者の割合	%	96.0	96.0	96.0	96.0	A	-	-	-

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
<p>具体的推進方策指標 6 指標は、達成度 A、B の指標が 5 指標（83%）、達成度 D の指標が 1 指標（17%）でした。</p>	<p>具体的推進方策指標 6 指標は、達成度 A、B の指標が 5 指標（83%）、達成度 D の指標が 1 指標（17%）でした。</p>

（1）就学前から卒業後までの一貫した支援の充実

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度
153 「引継ぎシート」を活用し、進学時に円滑な引継ぎを行っている学校の割合	%	71	100	100	100	A
154 いわて特別支援学校就労サポーター制度への登録企業数	社	123	151	133	127	D

【特記事項】

- ・ いわて特別支援学校就労サポーター制度への登録企業数：制度の趣旨や内容に関して企業の理解を得るまでに至らなかったケースも見られたことから、企業登録数は微増にとどまりました。

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
3	121	119	0	11	0	108	4 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	4 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(2) 各校種における指導・支援の充実

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度
155 交流箱の活用や学校間交流等により交流及び共同学習を実施した児童生徒の割合	%	66	74	68	68	A
156 特別支援学校の授業研究会・研修会に参加した小・中学校等及び高等学校の教員数[累計]	人	454	1,030	655	746	A

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
1	48	48	0	1	0	47	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(3) 教育環境の充実・県民理解の促進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度
157 県立学校における医療的ケアが必要な児童生徒が、医療的ケア看護職員による医療的ケアを受けた割合	%	100	100	100	100	A
158 特別支援教育サポーターの登録者数	人	335	480	390	389	B

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
3	165	86	26	1	4	55	5 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (75%)	1 (25%)	0 (0%)	0 (0%)

3 その他(指標以外の状況など)

◎ 県民意識調査の結果

- 令和6年県民意識調査によると、「全ての子どもが学べる環境」の重要度は17位、満足度は29位となり、ニーズ度は19位となっています。



15 いじめ問題などに適切に対応し、一人ひとりがお互いを尊重する学校をつくります

（基本方向）

全ての児童生徒が安心して学校生活を送り、様々な活動に取り組むことができるよう、「岩手県いじめ防止等のための基本的な方針」に基づくいじめ防止対策や、組織的な指導体制の充実により、いじめ事案への適切な対応に取り組みます。

また、不登校などの未然防止、早期発見・適切な対応を推進するため、ICTを活用した教育相談体制の一層の充実や関係機関と連携した教育機会の提供等により、児童生徒に寄り添った不登校対策を推進します。

さらに、児童生徒がデジタル社会等において健全な生活を送るため、情報モラル教育の推進や保護者への啓発活動などにより、児童生徒が適切な情報活用に関する能力や規範意識を身に付ける取組を推進します。

【概要】

- 政策項目に関連するいわて幸福関連指標3指標は、達成度Bの指標が2指標（67%）、達成度Dの指標が1指標（33%）でした。
- ・ 具体的推進方策指標9指標は、実績値未確定の1指標を除き、達成度A、Bの指標が6指標（75%）、達成度Dの指標が2指標（25%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							R3	R5	比較
23 人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合	%	小 68	70	70	65	B	-	-	-
24		中 67	68	68	66	B	-	-	-
25		高 62	70	66	63	D	-	-	-

【特記事項】

- ・ 人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合（高校生）：各学校で教育活動全体を通じた道徳教育を推進する中で、人が困っているときは進んで助けようと思っている生徒の割合は増加傾向にあるものの、生徒自身に思いやりの心を強く自覚させるには至りませんでした。

【参考指標】

調査項目	単位	現状値 (R3)	R5	備考
12	人	小 8.4	-	-
13		中 39.6	-	-
14		高 19.8	-	-

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
<p>8指標 A 1指標 12% B 5指標 63% D 2指標 25%</p>	<p>具体的推進方策指標 9 指標は、実績値未確定の 1 指標を除き、達成度 A、B の指標が 6 指標（75%）、達成度 D の指標が 2 指標（25%）でした。</p>

(1) いじめ防止対策の推進といじめ事案への適切な対処

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度
159	%	小 97.0	100	100	97.3	B
160		中 97.4	100	100	96.7	B
161	%	98.1	100	100	-	-

【特記事項】

- 認知したいじめが解消した割合：各校のいじめ対策組織を中心として、被害児童生徒との面談を定期的に設定したり、スクールカウンセラー等との面談を行ったりしながら被害児童生徒に寄り添った取組を推進しましたが、認知したいじめの解消の要件の一つとして、行為が止んでいる状態が「少なくとも3か月を目安とする」とあり、現在、調査中であることから、実績値は測定できませんでした。

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
2	14	11	2	1	0	8	2 (67%)	1 (33%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (67%)	1 (33%)	0 (0%)	0 (0%)

(2) 児童生徒に寄り添った教育相談体制の充実等による、不登校対策の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度
162	%	小 87	91	88	85	D
163		中 84	91	85	86	A
164		高 89	91	90	86	D

【特記事項】

- 学校が楽しいと思う(学校に満足している)児童生徒の割合(小学生、高校生)：学校生活に対する個々の満足度には多様な要因が影響すると考えられますが、新型コロナウイルス感染症の5類移行後の学校行事の見直しが一因となりました。

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
4	338	325	193	1	0	131	3 (50%)	2 (33%)	0 (0%)	1 (17%)	3 (75%)	1 (25%)	0 (0%)	0 (0%)

(3) デジタル社会における児童生徒の健全育成に向けた対策の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度
165	%	小 -	100	100	98	B
166		中 -	100	100	99	B
167		高 -	100	100	99	B

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
1	3	3	0	1	0	2	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)

3 その他(指標以外の状況など)

◎ 県民意識調査の結果

- 令和6年県民意識調査によると、「いじめや不登校への適切な対処」の重要度は6位、満足度は49位となり、ニーズ度は5位となっています。

16 児童生徒が安全に学ぶことができる教育環境の整備や教職員の資質の向上を進めます

（基本方向）

児童生徒の学校における安全・安心な環境が確保されるよう、学校施設等の安全点検による事故等の未然防止など学校安全計画の組織的な推進や、学校・家庭・地域・関係機関との連携による通学時の見守りや安全教育、学校施設・設備の計画的な老朽化対策などを推進します。

また、地域とともにある学校、魅力ある学校づくりを進めるため、スクール・ポリシーに基づく特色ある教育活動の充実、目標達成型の学校経営や学校・家庭・地域との連携・協働の仕組みであるコミュニティ・スクールの取組などを推進します。

さらに、質の高い教育を行えるよう、多様な評価に基づく教員採用試験の実施や教員等育成指標に基づく体系的な研修の充実等により、教員の育成と資質向上を進めます。

【概要】

- 政策項目に関連するいわて幸福関連指標7指標は、達成度A、Bの指標が7指標（100%）でした。
- ・ 具体的推進方策指標7指標は、達成度A、Bの指標が6指標（86%）、達成度Cの指標が1指標（14%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							R3	R5	比較
19 意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合	%	小 82.5	82.5	82.5	82.6	A	-	-	-
20		中 85.4	85.4	85.4	83.1	B	-	-	-
21 授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合	%	小 83.0	83.0	83.0	83.9	A	-	-	-
22		中 83.5	83.5	83.5	82.9	B	-	-	-
26 自己肯定感を持つ児童生徒の割合	%	小 76.4	80.0	78.0	82.0	A	-	-	-
27		中 76.2	79.0	78.5	79.1	A	-	-	-
32 特別支援学校が適切な指導・支援を行っていると感じる保護者の割合	%	96.0	96.0	96.0	96.0	A	-	-	-

【参考指標】

調査項目	単位	現状値 (R3)	R5	備考
12	人	小 8.4	-	-
13 不登校児童生徒数[千人当たり]		中 39.6	-	-
14		高 19.8	-	-

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
<p>7指標</p> <p>A 4指標 57%</p> <p>B 2指標 29%</p> <p>C 1指標 14%</p>	<p>具体的推進方策指標 7 指標は、達成度 A、B の指標が 6 指標（86%）、達成度 C の指標が 1 指標（14%）でした。</p>

(1) 安全でより良い教育環境の整備

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度
168 地域住民などによる見守り活動が行われている小中学校の割合	%	81.8	85.0	85.0	95.9	A
169 県立高校の長寿命化改修・大規模改造等実施施設数〔累計〕	施設	3	9	5	5	A
170 県立学校のトイレ洋式化率（生徒等に対する充足率）	%	76.5	86.0	79.7	81.0	A

◆推進方策を構成する事業の状況（前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照）

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
12	2,328	1,866	34	276	1,155	401	9 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	10 (83%)	1 (8%)	0 (0%)	1 (8%)

(2) 魅力ある学校づくりの推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度
171 コミュニティ・スクールを導入している学校の割合【再掲】	%	19.0	90.0	75.0	79.7	A
172 自分の住む地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある高校2年生の割合	%	50	75	75	70	B

◆推進方策を構成する事業の状況（前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照）

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
6	37	34	19	1	0	14	5 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (71%)	2 (29%)	0 (0%)	0 (0%)

(3) 多様な教育ニーズに対応する教育機会の確保

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度
173 教育支援センターを設置している市町村数	市町村	21	33	24	23	C

【特記事項】

- ・ 教育支援センターを設置している市町村数：校内教育支援センターで対応している市町村があるほか、人材、設置場所、予算などの検討に時間を要するため、設置に至らない市町村がありました。

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
2	15	12	2	1	0	9	1 (33%)	1 (33%)	0 (0%)	1 (33%)	1 (50%)	1 (50%)	0 (0%)	0 (0%)

(4) 教育への情熱と高い志を持つ有為な人材の確保・育成、資質向上

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度
174 教職大学院の現職教員修了者数[累計]	人	23	63	39	38	B

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
9	275	272	48	1	0	223	9 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (63%)	3 (37%)	0 (0%)	0 (0%)

3 その他(指標以外の状況など)

◎ 県民意識調査の結果

- 令和6年県民意識調査によると、「子どもが安全・安心に学ぶことができる環境」の重要度は11位、満足度は9位となり、ニーズ度は28位となっています。

18 地域に貢献する人材を育てます

（基本方向）

郷土を愛し、岩手の復興・発展を支える人材を育成するため、「いわての復興教育」などの取組を推進し、東日本大震災津波の教訓等を県内外に発信し、後世に語り継いでいきます。

また、産業を担う人材を育成するため、総合生活力や人生設計力の育成に努め、キャリア教育を充実するとともに、各分野における専門知識や技術の習得・向上を推進します。

さらに、社会が急激に変化し、グローバル化が進展する中、国際的な視野と地域に貢献する視野を持ったグローバル人材を育成するため、海外留学などの機会を充実するとともに、岩手県の歴史・文化の探求や、地域活動への積極的な参加を促進します。

【概要】

- 政策項目に関連するいわて幸福関連指標2指標は、達成度Aの指標が1指標（50%）、達成度Dの指標が1指標（50%）でした。
- ・ 具体的推進方策指標6指標は、達成度Aの指標が2指標（33%）、達成度Dの指標が4指標（67%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							R3	R4	比較
33 高卒者の県内就職率	%	74.1	84.5	84.5			教育関連以外のものは非表示としています。		
34 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	%	小 82.1	84.0	83.0	83.8	A	-	-	-
35 中 72.8		76.0	73.8	71.8	D	-	-	-	
36 県内大学等卒業者の県内就職率	%	47.0	50.0	48.5					

【特記事項】

- ・ 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合（中学生）：新型コロナウイルス感染症の影響で縮小・中断していた職場体験などは再開しつつあるものの、生徒に将来の夢や目標を実感させる学習活動の再構築が十分に進みませんでした。

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
<p>具体的推進方策指標の達成度</p> <p>6指標 A 2指標 33% D 4指標 67%</p>	<p>具体的推進方策指標6指標は、達成度Aの指標が2指標（33%）、達成度Dの指標が4指標（67%）でした。</p>

(1) 「いわての復興教育」などの推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名		単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度
177	自分の住む地域が好きだと思っている児童生徒の割合	%	小 72	74	72	70	D
178			中 53	60	55	54	D
179			高 45	52	47	49	A

【特記事項】

- 自分の住む地域が好きだと思っている児童生徒の割合（小学生、中学生）：新型コロナウイルス感染症の影響で縮小・中断していた校外活動などは再開しつつあるものの、児童生徒が地域の良さを認識する学習活動の再構築が十分に進みませんでした。

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
4	69	63	8	49	0	6	0	0	0	5	1	0	1	
						(100%)	(0%)	(0%)	(0%)	(72%)	(14%)	(0%)	(14%)	

(2) キャリア教育の推進とライフデザイン能力の育成

◆具体的推進方策指標の状況

指標名		単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度
180	将来希望する職業(仕事)について考えている高校2年生の割合	%	48	55	50	50	A

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
4	2,838	856	170	15	663	5	0	0	0	4	1	0	0	
						(100%)	(0%)	(0%)	(0%)	(80%)	(20%)	(0%)	(0%)	

(3) ものづくり産業人材の育成・確保・定着

(4) 農林水産業の将来を担う人材の育成

(5) 建設業の将来を担う人材の確保、育成

(6) デジタル人材の育成

(7) 科学技術の理解増進と次代を担う人材の育成

(8) 岩手と世界をつなぐ人材の育成

◆具体的推進方策指標の状況

指標名		単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度
190	中学3年生、高校3年生において求められている英語力を有している生徒の割合	%	中 42.9	51.0	45.0	38.4	D
191			高 49.0	57.0	51.0	48.5	D

【特記事項】

- ・ 中学3年生、高校3年生において求められている英語力を有している生徒の割合（中学生、高校生）：
 普段の授業の成果を確実にしたり、英語の学習意欲を高めるような取組や、検定等を受検する機会が十分ではありませんでした。

◆ 推進方策を構成する事業の状況（前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照）

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
7	217	216	1	1		214	8 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	7 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(9) 地域産業の国際化に貢献する人材の育成

3 その他（指標以外の状況など）

◎ 県民意識調査の結果

- ・ 令和6年県民意識調査によると、「次世代を担う人材育成」の重要度は28位、満足度は35位となり、ニーズ度は26位となっています。

31 ライフスタイルに応じた新しい働き方を通じて、一人ひとりの能力を発揮できる環境をつくります

（基本方向）

県民一人ひとりが能力を発揮でき、ライフステージやライフスタイルに合わせて希望に応じた多様な働き方ができる環境づくりに向け、長時間労働の是正やデジタル技術等を活用した企業の生産性向上等の働き方改革を推進するとともに、働く人のエンゲージメントを高め、若者や女性にも魅力ある雇用・労働環境の整備を促進します。

また、人口減少の歯止めや県内企業の人材確保のため、関係機関・団体が連携し、キャリア教育や県内企業の採用力向上等の取組により県内就業を促進するとともに、様々なニーズに応じた効果的な取組によりU・Iターンを促進します。

さらに、岩手の将来を担う若者をはじめ、女性・高齢者・障がい者など、誰もが活躍できる全員参加型社会の実現のため、個々の特性や希望に応じて持てる能力を最大限に発揮できる職業能力の開発などに取り組みます。

【概要】

- ・ 具体的推進方策指標 1 指標は、達成度 A の指標が 1 指標（100%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

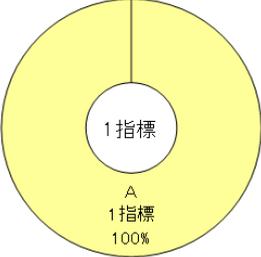
指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							R3	R5	比較
49 一人当たり県民所得の水準*	%	① 87.4	⑥ 90.0	③ 90.0					
50 正社員の有効求人倍率	倍	0.88	1.00	1.00					
51 総実労働時間〔年間〕【再掲】	時間	1,761.6	1,633.0	1,710.1					
52 完全失業率	%	2.4	2.0	2.0					
53 高卒者の県内就職率【再掲】	%	74.1	84.5	84.5					
54 女性の全国との賃金格差*	%	84.4	89.4	85.8					

※ 全国を 100 とした水準

【参考指標】

調査項目	単位	現状値 (R3)	R5	備考
17 非正規職員・従業員率	%	⑳ 35.7	教育関連以外のものは非表示と しています。	5年ごとの公表
18 雇用者一人当たり雇用者報酬	千円	① 4,043		-
19 現金給与総額〔5人以上、毎月〕	円	282,811		-

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
	<p>具体的推進方策指標 1 指標は、達成度 A の指標が 1 指標（100%）でした。</p>

(1) 県内就業の促進及びU・Iターンによる人材確保の推進

(2) 若者や女性などに魅力ある雇用・労働環境の構築

(3) 社会環境の変化に対応した職業能力開発の支援

(4) 子育てと仕事の両立を図る家庭への支援

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度
292 放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】	%	67.0	90.0	75.0	76.3	A

(5) 障がいなどに応じた多様な就労の場の確保や、就労に向けた支援

3 その他（指標以外の状況など）

◎ 県民意識調査の結果

- 令和6年県民意識調査によると、「安定した就職環境」の重要度は8位、満足度は54位となり、ニーズ度は1位となっています。

40 世界遺産の保存と活用を進めます

（基本方向）

世界遺産等の価値を共有し、広めるため、保存管理計画に基づく適切な保存管理や県民の理解増進、「平泉の文化遺産」の世界遺産への拡張登録に向けた取組、県内外への情報発信などに取り組みます。

また、世界遺産を活用した人的・文化的交流を図るため、平泉世界遺産ガイダンスセンターを「平泉の文化遺産」の周遊・魅力発信の拠点として活用するとともに、本県が有する3つの世界遺産及び関連資産を有する地域間の連携・交流による一体的な取組を推進します。

【概要】

○ 政策項目に関連するいわて幸福関連指標 1 指標は、達成度 A の指標が 1 指標（100%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							R3	R5	比較
64 世界遺産等の来訪者数	千人	417	991	712			教育関連以外のものは非表示としています。		
65 国、県指定文化財件数	件	574	589	580	584	A	31 位 (3 位)	29 位 (3 位)	上昇 (横ばい)

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

(1) 世界遺産の適切な保存管理と拡張登録の推進

(2) 世界遺産の価値の普及と魅力の発信

(3) 3つの世界遺産の連携・交流の推進

3 その他（指標以外の状況など）

◎ 県民意識調査の結果

- 令和6年県民意識調査によると、「世界遺産を守り将来に伝えていくための取組」の重要度は43位、満足度は7位となり、ニーズ度は49位となっています。

41 豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が受け継がれる環境をつくり、交流を広げます

（基本方向）

県民の郷土愛を醸成するため、本県が誇る民俗芸能に触れる機会の創出や情報発信により、伝統文化への理解を深め、次世代へ受け継ぐ取組を推進します。

また、地域に伝承されてきた文化財を後世に伝えていくため、市町村と連携しながら、文化財の適切な保存・継承に取り組むとともに、歴史資源や伝統文化を生かした地域活性化を図るため、地域の偉人や歴史、様々な文化財や多種多様な民俗芸能、食などの伝統文化や観光資源を活用し、人的・経済的な交流を推進します。

【概要】

○ 政策項目に関連するいわて幸福関連指標 1 指標は、達成度 A の指標が 1 指標（100%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							R3	R5	比較
64 世界遺産等の来訪者数	千人	417	991	712			教育関連以外のものは非表示としています。		
65 国、県指定文化財件数	件	574	589	580	584	A	31位 (3位)	29位 (3位)	上昇 (横ばい)
66 民俗芸能ネットワーク加盟団体数	団体	393	393	393					

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

（1）民俗芸能の公演発表などによる、伝統文化への理解促進と情報発信

（2）伝統文化、文化財などを活用した交流の推進

3 その他（指標以外の状況など）

◎ 県民意識調査の結果

- 令和6年県民意識調査によると、「郷土の歴史や伝統文化が受け継がれる環境」の重要度は41位、満足度は17位となり、ニーズ度は42位となっています。

参考資料 1 令和5年度「教育委員会事務点検評価報告書」指標一覧表

達成度：令和3年度現状値を基準とし、令和5年度実績値が、
令和5年度目標値に対し、どのくらい達成できたかを示す割合

- 【A】 達成……………達成度の割合が100%以上
- 【B】 概ね達成……………達成度の割合が80%以上100%未満
- 【C】 やや遅れ……………達成度の割合が60%以上80%未満
- 【D】 遅れ……………達成度の割合が60%未満

指標 No.	政策項目		単位	R 3 現状	R 5			
	具体的な推進方策	いわて幸福関連指標 具体的推進方策指標			目標	実績	達成度	
幸福11	No.5 生涯を通じて学び続けられる場をつくります	生涯学習に取り組んでいる人の割合	%	46.1	47.0	47.0	A	
推進58		生涯学習の推進を支える指導者・ボランティアの人材登録者数	人	885	940	943	A	
推進59		生涯学習情報提供システム（ホームページ）利用件数	件	4,166	4,550	5,329	A	
推進60		①多様な学習機会の充実	◆「読書が楽しい」と感じる児童生徒の割合	%	小 89	90	86	B
推進61				%	中 85	85	81	B
推進62				%	高 84	85	82	B
推進63		②岩手ならではの学習機会の提供	県立社会教育施設で「岩手」をテーマとした講座の受講者数	人	678	1,050	1,101	A
推進64		③学びと活動の循環による地域の活性化	◆教育振興運動や地域学校協働活動を推進している市町村・地区の割合 【再掲】	%	95.7	95.7	95.8	A
推進65		④社会教育の中核を担う人材の育成	社会教育指導員・地域づくり関係者の資質向上を図る研修会の受講者数	人	107	130	126	B
推進66		⑤多様な学びのニーズに応じた拠点の充実	◆県立博物館・県立美術館の企画展における観覧者の満足度の割合	%	91	91	95	A
推進67	◆県立青少年の家・野外活動センターにおける利用者の満足度の割合		%	—	97	99	A	

指標 No.	政策項目		いわて幸福関連指標	単位	R 3 現状	R 5		
	具体的な推進方策	具体的推進方策指標				目標	実績	達成度
—	No.6 安心して子どもを生み育てられる環境をつくります		—	—	—	—	—	—
推進76	③子育て家庭への支援	放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】	%	67.0	75.0	76.3	A	
推進88	⑥家庭教育を支える環境づくりの推進	すこやかメールマガジンの登録人数	人	3,635	4,500	4,500	A	
推進89		子育てサポーター等を対象とした家庭教育支援に関する研修会の参加者数	人	559	615	647	A	
—	No.7 地域やコミュニティにおいて、学校と家庭、住民が協働して子どもの育ちと学びを支えます		—	—	—	—	—	
推進90	①学校・家庭・地域の連携の仕組みづくり	コミュニティ・スクールを導入している学校の割合	%	19.0	75.0	79.7	A	
推進91		保護者や地域住民による教育支援活動が行われている学校の割合	%	小 76.9	78.0	95.9	A	
推進92			%	中 57.8	61.8	87.3	A	
推進93		◆教育振興運動や地域学校協働活動を推進している市町村・地区の割合	%	95.7	95.7	95.8	A	
推進94	②豊かな体験活動の充実	放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合	%	67.0	75.0	76.3	A	
推進96		◆県立青少年の家・野外活動センターが提供する親子体験活動事業への参加者の満足度の割合	%	—	98	99.4	A	
推進97	③県民と協働した特別支援教育体制づくりの推進	特別支援教育サポーターの登録者数【再掲】	人	335	390	389	B	
—	No.9 仕事と生活を両立できる環境をつくります		—	—	—	—	—	
推進108	②仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進	放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】	%	67.0	75.0	76.3	A	

指標 No.	政策項目		いわて幸福関連指標	単位	R 3 現状	R 5		
	具体的な推進方策	具体的推進方策指標				目標	実績	達成度
幸福19	No.11 【知育】児童生徒の確かな学力を育みます	◆意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合	%	小 82.5	82.5	82.6	A	
幸福20			%	中 85.4	85.4	83.1	B	
幸福21		◆授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合	%	小 83.0	83.0	83.9	A	
幸福22			%	中 83.5	83.5	82.9	B	
指標116	①これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成	教育課程全体で「話すこと」「書くこと」等の言語活動の充実を図っている学校の割合	%	小 —	50	44	B	
推進117			%	中 —	42	39	B	
推進118			%	高 —	53	85	A	
推進119		児童生徒の資質・能力の向上に向けて、「確かな学力育成プラン」に基づいて組織的に取り組んでいる学校の割合	%	小 —	64	64	A	
推進120			%	中 —	53	50	B	
推進121		「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」をもとに幼児児童の姿を共有し、授業に生かしている小学校の割合	%	—	75	80	A	
推進122		授業等でICT機器を活用し、児童生徒にICT活用について指導できる教員の割合	%	78	80	—	—	
推進123		諸調査結果や日々の授業から明らかになった児童生徒のつまずきに着目した授業改善を行っている学校の割合	%	小 —	52	46	B	
推進124			%	中 —	42	28	C	
推進125			%	高 —	53	79	A	
推進126	②児童生徒の実態に応じた授業改善の推進と家庭学習の充実	学校の宿題だけでなく、自主学習に取り組んでいる児童生徒の割合	%	小 —	63	60	B	
推進127			%	中 —	57	53	B	
推進128			%	高 —	52	45	B	
推進129	③社会ニーズに対応した学習内容の充実などによる生徒の進路実現の推進	生徒の進路実現に向け、自校で設定した進路目標を達成できた高校の割合	%	66	67	69	A	

指標 No.	政策項目		いわて幸福関連指標	単位	R 3 現状	R 5		
	具体的な推進方策	具体的推進方策指標				目標	実績	達成度
幸福23	No.12 【徳育】児童生徒の豊かな人間性と社会性を育みます	人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合	%	◆小 68	70	65	B	
幸福24			%	◆中 67	68	66	B	
幸福25			%	高 62	66	63	D	
幸福26		自己肯定感を持つ児童生徒の割合	%	小 76.4	78.0	82.0	A	
幸福27			%	中 76.2	78.5	79.1	A	
推進130	①自他の生命を大切にし、人権を尊重する心の育成	多様な意見を認め合うことに価値を感じている児童生徒の割合	%	小 —	77	73	B	
推進131			%	中 —	81	75	B	
推進132			%	◆高 —	90	86	B	
推進133	②学校・家庭・地域が連携した体験活動の推進などを通じた豊かな心の育成	学校や地域が行う体験活動に参加し、達成感や有用感をもった児童生徒の割合	%	小 —	85	90	A	
推進134			%	中 —	85	88	A	
推進135			%	高 —	90	91	A	
推進136		◆「読書が楽しい」と感じる児童生徒の割合【再掲】	%	小 89	90	86	B	
推進137			%	中 85	85	81	B	
推進138		%	高 84	85	82	B		
推進139	③学校における文化芸術教育の推進	様々な文化芸術に触れ、文化芸術に興味をわいたと感じている児童生徒の割合	%	小 69	72	69	D	
推進140			%	中 65	69	64	D	
推進141			%	高 68	77	76	B	
推進142	④主権者教育などによる社会に参画する力の育成	話し合いの場で、互いの良さを生かしながら解決方法を決めている児童生徒の割合	%	小 —	84	86	A	
推進143			%	中 —	84	88	A	
推進144			%	高 —	83	82	B	

指標 No.	政策項目		単位	R 3 現状	R 5			
	具体的な推進方策	具体的推進方策指標			目標	実績	達成度	
幸福28	No.13 【体育】児童生徒の健やかな体を育みます	◆体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合	%	小 男 68.9	70.0	67.6	B	
幸福29			%	小 女 79.1	80.0	77.3	B	
幸福30			%	中 男 74.8	75.0	72.7	B	
幸福31			%	中 女 88.8	90.0	85.8	B	
推進145	①児童生徒の健康の保持・増進に向けた対策の充実	◆運動やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合	%	86	89	88	B	
推進146		朝食を毎日食べる児童生徒の割合	%	◆小 96.6	97.0	96.0	B	
推進147			%	中 89.2	90.0	87.4	D	
推進148		◆毎日一定の時刻に就寝する児童生徒の割合	%	小 84.7	85.0	83.9	B	
推進149			%	中 84.6	85.0	84.4	B	
推進150		喫煙飲酒の指導を含めた「薬物乱用防止教室」を開催している小学校の割合	%	89.9	100	93.9	B	
推進151		②適切な部活動体制の推進	部活動の活動方針について、学校、保護者、外部指導者等が、共通理解を図る部活動連絡会等の機会を持っている学校の割合	%	中 86.6	89.0	93.8	A
推進152				%	高 93.1	95.0	98.4	A
幸福32		No.14 共に学び、共に育つ特別支援教育を進めます	◆特別支援学校が適切な指導・支援を行っていると感じる保護者の割合	%	96.0	96.0	96.0	A
推進153		①就学前から卒業後までの一貫した支援の充実	◆「引継ぎシート」を活用し、進学時に円滑な引継ぎを行っている学校の割合	%	71	100	100	A
推進154	いわて特別支援学校就労サポーター制度への登録企業数		社	123	133	127	D	
推進155	②各校種における指導・支援の充実	交流籍の活用や学校間交流等により交流及び共同学習を実施した児童生徒の割合	%	66	68	68	A	
推進156		特別支援学校の授業研究会・研修会に参加した小・中学校等及び高等学校の教員数〔累計〕	人	454	655	746	A	
推進157	③教育環境の充実・県民理解の促進	◆県立学校における医療的ケアが必要な児童生徒が、医療的ケア看護職員による医療的ケアを受けた割合	%	100	100	100	A	
推進158		特別支援教育サポーターの登録者数	人	335	390	389	B	

指標 No.	政策項目		いわて幸福関連指標	単位	R 3 現状	R 5		
	具体的な推進方策	具体的推進方策指標				目標	実績	達成度
幸福23	No.15 いじめ問題などに適切に対応し、一人ひとりがお互いを尊重する学校をつくります	人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合		%	◆小 68	70	65	B
幸福24				%	◆中 67	68	66	B
幸福25				%	高 62	66	63	D
推進159	①いじめ防止対策の推進といじめ事案への適切な対処	◆いじめはいけないと思う児童生徒の割合		%	小 97.0	100	97.3	B
推進160				%	中 97.4	100	96.7	B
推進161	②児童生徒に寄り添った教育相談体制の充実等による、不登校対策の推進	◆認知したいじめが解消した割合		%	98.1	100	—	—
推進162		学校が楽しいと思う（学校に満足している）児童生徒の割合		%	小 87	88	85	D
推進163				%	中 84	85	86	A
推進164				%	高 89	90	86	D
推進165	③デジタル社会における児童生徒の健全育成に向けた対策の推進	◆スマートフォンやインターネットを使うときは、危険に巻き込まれる可能性等があることを理解している児童生徒の割合		%	小 —	100	98	B
推進166				%	中 —	100	99	B
推進167				%	高 —	100	99	B

指標 No.	政策項目		いわて幸福関連指標	単位	R 3 現状	R 5		
	具体的な推進方策	具体的推進方策指標				目標	実績	達成度

幸福19	No.16 児童生徒が安全に学ぶことができる教育環境の整備や教職員の資質の向上を進めます	◆意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合	%	小 82.5	82.5	82.6	A
幸福20			%	中 85.4	85.4	83.1	B
幸福21		◆授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合	%	小 83.0	83.0	83.9	A
幸福22			%	中 83.5	83.5	82.9	B
幸福26		自己肯定感を持つ児童生徒の割合	%	小 76.4	78.0	82.0	A
幸福27			%	中 76.2	78.5	79.1	A
幸福32		◆特別支援学校が適切な指導・支援を行っていると感じる保護者の割合	%	96.0	96.0	96.0	A
推進168	①安全でより良い教育環境の整備	◆地域住民などによる見守り活動が行われている小中学校の割合	%	81.8	85.0	95.9	A
推進169		県立学校の長寿命化改良・大規模改造実施施設数（累計）	施設	3	5	5	A
推進170		県立学校のトイレ洋式化率（生徒等に対する充足率）	%	76.5	79.7	81.0	A
推進171	②魅力ある学校づくりの推進	コミュニティ・スクールを導入している学校の割合【再掲】	%	19.0	75.0	79.7	A
推進172		◆自分の住む地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある高校2年生の割合	%	50	75	70	B
推進173	③多様な教育ニーズに対応する教育機会の提供	教育支援センターを設置している市町村数	市町村	21	24	23	C
推進174	④教育への情熱と高い志を持つ有為な人材の確保・育成、資質向上	教職大学院の現職教員修了者数（累計）	人	23	39	38	B

議19-63

幸福34	No.18 地域に貢献する人材を育てます	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	%	小 82.1	83.0	83.8	A
幸福35			%	中 72.8	73.8	71.8	D
推進177	①「いわての復興教育」などの推進	自分の住む地域が好きだと思っている児童生徒の割合	%	小 72	72	70	D
推進178			%	中 53	55	54	D
推進179			%	高 45	47	49	A
推進180	②キャリア教育の推進とライフデザイン能力の育成	将来希望する職業(仕事)について考えている高校2年生の割合	%	48	50	50	A
推進190	⑤岩手と世界をつなぐ人材の育成	中学3年生、高校3年生において求められている英語力を有している生徒の割合	%	中 42.9	45.0	38.4	D
推進191			%	高 49.0	51.0	48.5	D

指標 No.	政策項目		いわて幸福関連指標	単位	R 3 現状	R 5		
	具体的な推進方策	具体的推進方策指標				目標	実績	達成度
—	No.31 ライフスタイルに応じた新しい働き方を通じて、一人ひとりの能力を発揮できる環境をつくります	—	—	—	—	—	—	—
推進292	④子育てと仕事の両立を図る家庭への支援	放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】	—	%	67.0	75.0	76.3	A
幸福65	40 世界遺産の保存と活用を進めます	国、県指定文化財件数	—	件	574	580	584	A
幸福65	No.41 豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が受け継がれる環境をつくり、交流を広げます	国、県指定文化財件数	—	件	574	580	584	A

◆：維持することを目標としている指標

◎いわて幸福関連指標※

	指標数	割合
A	8	45%
B	8	44%
C	0	0%
D	2	11%
未確定	0	—
計	18	—

※複数の政策項目に関連しているいわて幸福関連指標の指標数は「1」としています。

◎具体的推進方策指標

	指標数	割合
A	40	47%
B	33	39%
C	2	2%
D	10	12%
未確定	2	—
計	87	—

2 いわて県民計画(2019~2028)第2期政策推進プラン 事務事業一覧表

事務事業評価一覧表の見方

【数】 数値 (再掲29事業を除く)

番号	事業名	区分	コロナ関連	計画年度	事業名	令和5年度						残額 (千円)
						最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	国庫	その他	県債	一般	
11【教育】児童生徒の豊かな学力を育みます												
① これからの社会で活躍するために必要な読解・能力の育成												
3-1	読書			読	中高読解学力向上推進事業【学校教育費】	1,365	0	0	0	0	1,365	0
3-2	読書			読	いわて幼児教育センター運営費【学校教育費】	9,811	4,878	31				0
3-3	読書			読	教職員研修費(中堅教諭等読解向上研修・ステップアップ研修費)【学校教育費】	2,641	2,639	0	923		1,718	0
(3-6)	読書	再		読	いわての地域国際化人材育成事業【学校教育費】	(4,272)	(4,279)	(0)	(0)	(0)	(4,279)	(0)
(3-4)	読書	再		読	読解力育成プラン推進費【学校教育費】	(9,876)	(9,876)	(0)	(0)	(0)	(9,876)	(0)
3-5	読書			読	遠隔教育支援推進事業【学校教育費】	2,475	2,288	2,288			0	0
3-6	読書		コ	読	学校教育ICT活用推進事業【教育費】	32,182	32,182	13,804	3,805	0	14,823	0
② 児童生徒の笑顔に応じた学習の推進と読解学習の充実												
(3-3)	読書	再		読	教職員研修費(中堅教諭等読解向上研修・ステップアップ研修費)【学校教育費】	(2,639)	(0)	(923)	(0)	(1,718)	(0)	
3-4	読書			読	読解力育成プラン推進費【学校教育費】	10,000	0	0	0	0	9,876	0

■事務事業評価一覧表
 ・ 令和5年度に実施した政策的な事務事業について「予算・決算額」、「達成度」について取りまとめた表です。
 ・ 10の政策ごとの事業数を記載しています。

■政策項目
 50の政策項目名を記載しています。

■具体的な推進方策
 県が主体となって取り組む「具体的な推進方策」を記載しています。

■復興推進プラン・総合戦略関連
 復興推進プランに掲げられる事業について「復」を、岩手県ふるさと振興総合戦略に掲げられる事業について「総」を表示しています。

■コロナ関連
 新型コロナウイルス感染症関連の事業には「コ」を表示しています。

■区分
 主掲事業の再掲となる事業には「再」を表示しています。

■令和5年度(千円)
 令和5年度の最終予算額、決算額、翌年度への繰越額を記載しています。

■指標結果
 ・ 政策推進プランを構成する事業については、「活動内容指標」及び「成果指標」の令和5年度の実績値及び達成度を表しています。
 ・ 達成度の判定

達成度	目標達成率	達成率の算出方法
A	100%以上	<通常の指標、維持指標の場合> 達成率=実績値/目標値×100
B	80%以上100%未満	<マイナズ指標の場合> 達成率=目標値/実績値×100
C	60%以上80%未満	
D	60%未満	

・ 「-」は、実績が未確定等により判定できないものです。

活動内容指標	令和5年度			成果指標	令和5年度				
	指標名	単位	計画値		実績値	達成度	指標名	単位	目標値
中高読解リーダー教職員育成研修会開催回数	回	1	1	A	中高読解リーダー教職員育成研修会への参加教員数	人	8	8	A
幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続に向けた研修会の開催回数	回	7	7	A	幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続に向けた研修会の参加人数	人	200	200	A
双学館教育に係る市町村への訪問支援回数	回	33	91	A	いわて幼児教育センターの訪問支援を受けた人数	人	180	813	A
実施する研修の回数	回	13	13	A	研修の成果があったとする受講者の割合	%	100	99	B
実施した実施学校の割合	%	100	100	A	実施した実施学校の割合	%	100	100	A
イーハートブ・キャンプの開催回数	回	2	2	A	イーハートブキャンプ後、外国語や外国語活動において肯定的な変化が見られた児童生徒の割合	%	80	80	A
小中学校における調査の実施	%	100	100	A	調査結果を活用した指導改善に取り組んだ学校の割合	%	100	100	A
遠隔教育に向けて取り組んだ県立高校数	校	5	5	A	遠隔教育を実施した科目の延べ数	科目	11	11	A
岩手県学校教育ICT推進協議会の開催回数	回	3	3	A	岩手県GIGAスクール運営支援センター参加市町村数	市町村	5	4	B
実施する研修の回数	回	13	13	A	研修の成果があったとする受講者の割合	%	100	99	B
小中学校における調査の実施	%	100	100	A	調査結果を活用した指導改善に取り組んだ学校の割合	%	100	100	A

【I 健康・余暇】7事業（再掲10事業を除く）

番号	部局名	区分	コロナ 関連	計画 関連	事業名	令和5年度						繰越額 (千円)
						最終予算額 (千円)	決算額 (千円)					
								国庫	その他	県債	一般	
4 幅広い分野の文化芸術に親しみ、生涯を通じてスポーツを楽しむ機会を広げます												
① 県民が日常的に文化芸術に親しむ機会の充実												
(1-119)	教委	再	コ	総	博物館管理運営費【生涯学習文化財課】	(376,362)	(372,404)	(6,353)	(43,821)	(0)	(322,230)	(0)
(1-120)	教委	再	コ	総	美術館管理運営費【生涯学習文化財課】	(455,333)	(454,843)	(11,810)	(75,416)	(0)	(367,617)	(0)
④ ライフステージに応じたスポーツを楽しむ機会の充実												
1-110	教委			総	運動部活動地域連携推進事業費【保健体育課】	962	512	0	99	0	413	0
5 生涯を通じて学び続けられる場をつくります												
① 多様な学習機会の充実												
(2-59)	教委	再		復・総	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助【生涯学習文化財課】	(116,283)	(101,497)	(50,028)	(0)	(0)	(51,469)	(0)
1-117	教委			総	生涯学習推進費（子どもの読書活動推進事業費）【生涯学習文化財課】	(271)	(215)	(0)	(0)	(0)	(215)	(0)
(1-122)	教委	再		復・総	社会教育デジタル活用推進事業費【生涯学習文化財課】	(26,430)	(23,957)	(4,393)	(15,170)	(0)	(4,394)	(0)
② 岩手ならではの学習機会の提供												
(1-119)	教委	再	コ	総	博物館管理運営費【生涯学習文化財課】	(376,362)	(372,404)	(6,353)	(43,821)	(0)	(322,230)	(0)
(1-120)	教委	再	コ	総	美術館管理運営費【生涯学習文化財課】	(455,333)	(454,843)	(11,810)	(75,416)	(0)	(367,617)	(0)
(1-122)	教委	再		復・総	社会教育デジタル活用推進事業費【生涯学習文化財課】	(26,430)	(23,957)	(4,393)	(15,170)	(0)	(4,394)	(0)
③ 学びと活動の循環による地域の活性化												
(2-59)	教委	再		復・総	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助【生涯学習文化財課】	(116,283)	(101,497)	(50,028)	(0)	(0)	(51,469)	(0)
1-118	教委			総	社会教育団体活動費補助【生涯学習文化財課】	1,570	1,570	0	0	0	1,570	0
④ 社会教育の中核を担う人材の育成												
(1-122)	教委	再		復・総	社会教育デジタル活用推進事業費【生涯学習文化財課】	(26,430)	(23,957)	(4,393)	(15,170)	(0)	(4,394)	(0)
⑤ 多様な学びのニーズに応じた拠点の充実												
1-119	教委		コ	総	博物館管理運営費【生涯学習文化財課】	(376,362)	372,404	(6,353)	(43,821)	(0)	(322,230)	0
1-120	教委		コ	総	美術館管理運営費【生涯学習文化財課】	(455,333)	454,843	(11,810)	(75,416)	(0)	(367,617)	0
1-121	教委		コ	復・総	野外活動センター管理運営費【生涯学習文化財課】	99,345	97,034	0	4,975	0	92,059	0

活動内容指標					成果指標					事業名
指標名	単位	令和5年度			指標名	単位	令和5年度			
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度	
企画展・テーマ展の開催回数	回	3	3	A	博物館入館者数	人	40,000	72,400	A	博物館管理運営費【生涯学習文化財課】
美術館における美術普及等のための講座の実施回数	回	45	46	A	美術館入館者数	人	59,000	74,555	A	美術館管理運営費【生涯学習文化財課】
検討(運営)会議の開催	回	2	4	A	実践研究対象部活動数	部	6	9	A	運動部活動地域連携推進事業費【保健体育課】
補助市町村数	市町村	28	28	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	97.8	98.5	A	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助【生涯学習文化財課】
放課後子どもプラン指導者合同研修会開催回数	回	3	3	A	放課後子どもプラン指導者合同研修会の受講者数	人	300	391	A	
地域学校協働活動関連研修会開催数	回	8	8	A	地域学校協働活動関連研修会の受講者数	人	180	245	A	
読書ボランティア研修会の開催回数	回	7	7	A	小学校における読書ボランティア活用割合	%	88.0	79.6	B	生涯学習推進費(子どもの読書活動推進事業費)【生涯学習文化財課】
子どもの読書活動推進委員会開催回数	回	2	2	A	小学生(5年生)の1か月の平均読書冊数	冊	17.2	17.1	B	
					中学生(2年生)の1か月の平均読書冊数	冊	5.0	4.8	B	
					高校生(2年生)の1か月の平均読書冊数	冊	2.2	2.2	A	
デジタル化した貴重資料の新規公開件数	件	10,100	8,221	B	デジタルライブラリーいわて及びバーチャル博物館の閲覧件数	件	10,200	6,305	C	社会教育デジタル活用推進事業費【生涯学習文化財課】
企画展・テーマ展の開催回数	回	3	3	A	博物館入館者数	人	40,000	72,400	A	博物館管理運営費【生涯学習文化財課】
美術館における美術普及等のための講座の実施回数	回	45	46	A	美術館入館者数	人	59,000	74,555	A	美術館管理運営費【生涯学習文化財課】
デジタル化した貴重資料の新規公開件数	件	10,100	8,221	B	デジタルライブラリーいわて及びバーチャル博物館の閲覧件数	件	10,200	6,305	C	社会教育デジタル活用推進事業費【生涯学習文化財課】
補助市町村数	市町村	28	28	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	97.8	98.5	A	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助【生涯学習文化財課】
放課後子どもプラン指導者合同研修会開催回数	回	3	3	A	放課後子どもプラン指導者合同研修会の受講者数	人	300	391	A	
地域学校協働活動関連研修会開催数	回	8	8	A	地域学校協働活動関連研修会の受講者数	人	180	245	A	
社会教育団体への補助件数	件	10	10	A	-	-	-	-	-	社会教育団体活動費補助【生涯学習文化財課】
デジタル化した貴重資料の新規公開件数	件	10,100	8,221	B	デジタルライブラリーいわて及びバーチャル博物館の閲覧件数	件	10,200	6,305	C	社会教育デジタル活用推進事業費【生涯学習文化財課】
企画展・テーマ展の開催回数	回	3	3	A	博物館入館者数	人	40,000	72,400	A	博物館管理運営費【生涯学習文化財課】
美術館における美術普及等のための講座の実施回数	回	45	46	A	美術館入館者数	人	59,000	74,555	A	美術館管理運営費【生涯学習文化財課】
野外活動センターにおける体験活動の事業実施回数	回	15	21	A	野外活動センターの施設利用人数	人	26,703	25,888	B	野外活動センター管理運営費【生涯学習文化財課】

【I 健康・余暇】7事業（再掲10事業を除く）

番号	部局名	区分	コロナ 関連	計画 関連	事業名	令和5年度						
						最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	繰越額				繰越額 (千円)
								国庫	その他	県債	一般	
1-122	教委			復・総	社会教育デジタル活用推進事業費【生涯学習文化財課】	26,430	23,957	4,393	15,170	0	4,394	0

活動内容指標					成果指標					事業名
指標名	単位	令和5年度			指標名	単位	令和5年度			
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度	
デジタル化した貴重資料の新規公開件数	件	10,100	8,221	B	デジタルライブラリーいわて及びパーチャル博物館の閲覧件数	件	10,200	6,305	C	社会教育デジタル活用推進事業費【生涯学習文化財課】

【Ⅱ 家族・子育て】17事業（再掲5事業を除く）

番号	部局名	区分	コロナ 関連	計画 関連	事業名	令和5年度						繰越額 (千円)
						最終予算額 (千円)	決算額 (千円)					
								国庫	その他	県債	一般	
6 安心して子どもを生き育てられる環境をつくります												
③ 子育て家庭への支援												
2-59	教委	再		復・総	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助【生涯学習文化財課】	(116,283)	(101,497)	(50,028)	(0)	(0)	(51,469)	(0)
④ 子どもが健やかに成長できる環境の整備												
2-39	教委			復・総	いわての学び希望基金奨学金給付事業費【教育企画室】	175,105	174,292	0	171,662	0	2,630	0
2-40	教委			復・総	いわての学び希望基金大学等進学支援一時金給付事業費【教育企画室】	56,709	54,909	0	54,909	0	0	0
2-41	教委			復・総	被災児童生徒就学援助事業費補助【教育企画室】	60,576	51,169	51,169	0	0	0	0
2-42	教委			復・総	被災児童生徒特別支援教育就学奨励事業費補助【教育企画室】	46	0	0	0	0	0	0
2-43	教委			復・総	高校奨学事業費補助【教育企画室】	25,276	24,637	0	12,216	0	12,421	0
2-44	教委			総	高校奨学事業費補助(大学等進学支援)【教育企画室】	7,637	5,837	0	0	0	5,837	0
2-45	教委			総	定時制通信教育運営費【教育企画室】	70	41	0	0	0	41	0
2-46	教委			総	定時制、通信制修学資金貸付金【教育企画室】	252	168	0	0	0	168	0
2-47	教委			復・総	いわての学び希望基金教科書購入費等給付事業費【学校教育室】	51,850	47,581	0	47,581	0	0	0
2-48	教委			総	公立高等学校等就学支援金交付事業費【教育企画室】	2,187,012	2,185,925	2,185,845	80	0	0	0
2-49	教委			総	奨学のための給付金支給事業費【教育企画室】	290,086	288,994	96,330	0	0	192,664	0
2-50	教委			総	学び直しへの支援事業費【教育企画室】	173	173	173	0	0	0	0
2-51	教委			総	専攻科等修学支援事業費【教育企画室】	253	253	126	0	0	127	0
⑥ 家庭教育を支える環境づくりの推進												
2-56	教委			総	家庭教育推進費(家庭教育子育て支援推進事業費)【生涯学習文化財課】	2,904	2,824	0	0	0	2,824	0
2-59	教委	再		復・総	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助【生涯学習文化財課】	(116,283)	(101,497)	(50,028)	(0)	(0)	(51,469)	(0)
7 地域やコミュニティにおいて、学校と家庭、住民が協働して子どもの育ちと学びを支えます												
① 学校・家庭・地域の連携の仕組みづくり												
2-57	教委			総	いわて地域学校連携促進事業費【生涯学習文化財課】	239	236	0	0	0	236	0
2-58	教委			総	指導運営費(県立学校コミュニティ・スクール推進事業費)【学校教育室】	1,936	1,419	0	0	0	1,419	0
2-59	教委			復・総	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助【生涯学習文化財課】	116,283	101,497	50,028	0	0	51,469	0

活動内容指標					成果指標					事業名
指標名	単位	令和5年度			指標名	単位	令和5年度			
		計画値	実績値	達成度			計画値	実績値	達成度	
補助市町村数	市町村	28	28	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	97.8	98.5	A	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助【生涯学習文化財課】
放課後子どもプラン指導者合同研修会開催回数	回	3	3	A	放課後子どもプラン指導者合同研修会の受講者数	人	300	391	A	
地域学校協働活動関連研修会開催数	回	8	8	A	地域学校協働活動関連研修会の受講者数	人	180	245	A	
-	-	-	-	-	「いわての学び希望基金」を原資とする奨学金の給付率	%	100	100	A	いわての学び希望基金奨学金給付事業費【教育企画室】
-	-	-	-	-	大学等進学支援一時金の給付率	%	100	100	A	いわての学び希望基金大学等進学支援一時金給付事業費【教育企画室】
就学援助事業実施市町村に対する補助	回	1	1	A	就学援助事業費の市町村への補助率	%	100	100	A	被災児童生徒就学援助事業費補助【教育企画室】
特別支援教育就学奨励事業実施市町村に対する補助	回	1	-	-	特別支援教育就学奨励事業費の補助率	%	100	-	-	被災児童生徒特別支援教育就学奨励事業費補助【教育企画室】
(公財)岩手育英奨学会に対する補助	法人	1	1	A	申請対象者への貸与率	%	100	100	A	高校奨学事業費補助【教育企画室】
(公財)岩手育英奨学会に対する補助	法人	1	1	A	申請対象者への貸与率	%	100	100	A	高校奨学事業費補助(大学等進学支援)【教育企画室】
-	-	-	-	-	対象生徒への給与割合	%	100	100	A	定時制通信教育運営費【教育企画室】
-	-	-	-	-	対象生徒への貸与割合	%	100	100	A	定時制、通信制修学資金貸付金【教育企画室】
-	-	-	-	-	教科書購入費等給付金の給付率	%	100	100	A	いわての学び希望基金教科書購入費等給付事業費【学校教育室】
-	-	-	-	-	対象生徒の認定割合	%	100	100	A	公立高等学校等就学支援金交付事業費【教育企画室】
-	-	-	-	-	申請対象者への給付率	%	100	100	A	奨学のための給付金支給事業費【教育企画室】
-	-	-	-	-	対象生徒の認定割合	%	100	100	A	学び直しへの支援事業費【教育企画室】
-	-	-	-	-	対象生徒の認定割合	%	100	100	A	専攻科等修学支援事業費【教育企画室】
子育て電話相談・メール相談窓口の相談対応日数	日	241	239	B	子育て相談ニーズへの対応件数	件	800	1,075	A	家庭教育推進費(家庭教育子育て支援推進事業費)【生涯学習文化財課】
補助市町村数	市町村	28	28	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	97.8	98.5	A	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助【生涯学習文化財課】
放課後子どもプラン指導者合同研修会開催回数	回	3	3	A	放課後子どもプラン指導者合同研修会の受講者数	人	300	391	A	
地域学校協働活動関連研修会開催数	回	8	8	A	地域学校協働活動関連研修会の受講者数	人	180	245	A	
地域とともにある学校づくり推進フォーラム開催回数	回	6	6	A	地域とともにある学校づくり推進フォーラム参加者数	人	600	717	A	いわて地域学校連携促進事業費【生涯学習文化財課】
-	-	-	-	-	コミュニティ・スクール導入校	校	31	30	B	指導運営費(県立学校コミュニティ・スクール推進事業費)【学校教育室】
補助市町村数	市町村	28	28	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	97.8	98.5	A	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助【生涯学習文化財課】
放課後子どもプラン指導者合同研修会開催回数	回	3	3	A	放課後子どもプラン指導者合同研修会の受講者数	人	300	391	A	
地域学校協働活動関連研修会開催数	回	8	8	A	地域学校協働活動関連研修会の受講者数	人	180	245	A	

【Ⅱ 家族・子育て】17事業（再掲5事業を除く）

番号	部局名	区分	コロナ 関連	計画 関連	事業名	令和5年度					繰越額 (千円)	
						最終予算額 (千円)	決算額 (千円)					
								国庫	その他	県債		一般
② 豊かな体験活動の充実												
(2-59)	教委	再		復・総	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助【生涯学習文化財課】	(116,283)	(101,497)	(50,028)	(0)	(0)	(51,469)	(0)
③ 県民と協働した特別支援教育体制づくりの推進												
(3-30)	教委	再		総	特別支援教育推進事業費(いわて特別支援教育推進プラン実践事業費)【学校教育室】	(382)	(342)	(0)	(0)	(0)	(342)	(0)
9 仕事と生活を両立できる環境をつくります												
② 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進												
(2-59)	教委	再		復・総	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助【生涯学習文化財課】	(116,283)	(101,497)	(50,028)	(0)	(0)	(51,469)	(0)

活動内容指標					成果指標					事業名
指標名	単位	令和5年度			指標名	単位	令和5年度			
		計画値	実績値	達成度			計画値	実績値	達成度	
補助市町村数	市町村	28	28	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	97.8	98.5	A	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助【生涯学習文化財課】
放課後子どもプラン指導者合同研修会開催回数	回	3	3	A	放課後子どもプラン指導者合同研修会の受講者数	人	300	391	A	
地域学校協働活動関連研修会開催数	回	8	8	A	地域学校協働活動関連研修会の受講者数	人	180	245	A	
巡回相談をした特別支援学校数	校	15	15	A	◆巡回相談における相談への対応率	%	100	100	A	特別支援教育推進事業費(いわて特別支援教育推進プラン実践事業費)【学校教育室】
教員研修の場の提供及び合同研修会の開催回数	回	70	70	A	特別支援学校の学校公開研究会等の参加人数	人	1,800	1,797	B	
補助市町村数	市町村	28	28	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	97.8	98.5	A	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助【生涯学習文化財課】
放課後子どもプラン指導者合同研修会開催回数	回	3	3	A	放課後子どもプラン指導者合同研修会の受講者数	人	300	391	A	
地域学校協働活動関連研修会開催数	回	8	8	A	地域学校協働活動関連研修会の受講者数	人	180	245	A	

【Ⅲ 教育】70事業（再掲29事業を除く）

番号	部局名	区分	コロナ 関連	計画 関連	事業名	令和5年度						繰越額 (千円)
						最終予算額 (千円)	決算額 (千円)					
								国庫	その他	県債	一般	
11 【知育】児童生徒の確かな学力を育みます												
① これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成												
3-1	教委			総	中高連携学力向上推進事業費【学校教育室】	1,554	1,366	0	0	0	1,366	0
3-2	教委			総	いわて幼児教育センター運営費【学校教育室】	10,272	9,991	4,979	31	0	4,981	0
3-3	教委			総	教職員研修費(中堅教諭等資質向上研修・ステージアップ研修費)【学校教育室】	2,641	2,639	0	923	0	1,716	0
(3-81)	教委	再		総	いわての地域国際化人材育成事業費【学校教育室】	(4,372)	(4,279)	(0)	(0)	(0)	(4,279)	(0)
(3-4)	教委	再		総	確かな学力育成プラン推進費【学校教育室】	(10,030)	(9,976)	(0)	(0)	(0)	(9,976)	(0)
3-5	教委			総	遠隔教育ネットワーク構築事業費【学校教育室】	2,475	2,268	2,268	0	0	0	0
3-6	教委		コ	総	学校教育ICT活用促進事業費【教育企画室】	32,182	32,132	13,804	3,505	0	14,823	0
② 児童生徒の実態に応じた授業改善の推進と家庭学習の充実												
(3-3)	教委	再		総	教職員研修費(中堅教諭等資質向上研修・ステージアップ研修費)【学校教育室】	(2,641)	(2,639)	(0)	(923)	(0)	(1,716)	(0)
3-4	教委			総	確かな学力育成プラン推進費【学校教育室】	10,030	9,976	0	0	0	9,976	0
③ 社会ニーズに対応した学習内容の充実などによる生徒の進路実現の推進												
3-7	教委			総	いわて進学支援ネットワーク事業費(いわて進学支援ネットワーク事業費)【学校教育室】	15,932	15,327	0	0	0	15,327	0
3-8	教委			総	いわて進学支援ネットワーク事業費(探究・STEAM教育推進事業費)【学校教育室】	15,511	14,527	0	0	0	14,527	0
3-9	教委			総	指導運営費(原子力・エネルギー教育支援事業費)【学校教育室】	8,152	7,702	7,702	0	0	0	0
3-10	教委			復・総	県立学校復興担い手育成支援事業費【学校教育室】	16,490	14,847	0	14,847	0	0	0
3-11	教委			総	指導運営費(スーパーサイエンスハイスクール支援事業費)【学校教育室】	2,209	2,206	2,206	0	0	0	0
(3-50)	教委	再		総	いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業費(探究共創事業費)【学校教育室】	(11,937)	(10,705)	(5,352)	(0)	(0)	(5,353)	(0)
(2-44)	教委	再		総	高校奨学事業費補助(大学等進学支援)【教育企画室】	(7,637)	(5,837)	(0)	(0)	(0)	(5,837)	(0)
12 【徳育】児童生徒の豊かな人間性と社会性を育みます												
① 自他の生命を大切にし、人権を尊重する心の育成												
3-12	教委			総	指導運営費(人権教育研究推進事業費)【学校教育室】	300	263	263	0	0	0	0
3-13	教委			総	指導運営費(道徳教育推進事業費)【学校教育室】	1,951	1,623	1,623	0	0	0	0

活動内容指標				成果指標					事業名	
指標名	単位	令和5年度			指標名	単位	令和5年度			
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値		達成度
中高連携リーダー教員育成研修会開催回数	回	1	1	A	中高連携リーダー教員育成研修会への参加教員数	人	8	8	A	中高連携学力向上推進事業費【学校教育室】
幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続に向けた研修会の開催回数	回	7	7	A	幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続に向けた研修会の参加人数	人	200	200	A	いわて幼児教育センター運営費【学校教育室】
就学前教育に係る市町村への訪問支援回数	回	33	91	A	いわて幼児教育センターの訪問支援を受けた人数	人	150	613	A	
実施する研修の回数	回	13	13	A	研修の成果があったとする受講者の割合	%	100	99	B	教職員研修費(中堅教諭等資質向上研修・ステージアップ研修費)【学校教育室】
英検IBA実施学校の割合	%	100	100	A	英検IBAの結果を踏まえ、授業改善に取り組んだ中学校の割合	%	100	100	A	いわての地域国際化人材育成事業費【学校教育室】
イーハトーブ・キャンプの開催回数	回	2	2	A	イーハトーブキャンプ後、外国語や外国語活動において肯定的な変化が見られた児童生徒の割合	%	80	80	A	
小中学校における調査の実施	%	100	100	A	調査結果を活用した指導改善に取り組んだ学校の割合	%	100	100	A	確かな学力育成プラン推進費【学校教育室】
遠隔教育に向けて取り組んだ県立高校数	校	5	5	A	遠隔教育を実施した科目の延べ数	科目	11	11	A	遠隔教育ネットワーク構築事業費【学校教育室】
岩手県学校教育ICT推進協議会の開催回数	回	3	3	A	岩手県GIGAスクール運営支援センター参加市町村数	市町村	5	4	B	学校教育ICT活用促進事業費【教育企画室】
実施する研修の回数	回	13	13	A	研修の成果があったとする受講者の割合	%	100	99	B	教職員研修費(中堅教諭等資質向上研修・ステージアップ研修費)【学校教育室】
小中学校における調査の実施	%	100	100	A	調査結果を活用した指導改善に取り組んだ学校の割合	%	100	100	A	確かな学力育成プラン推進費【学校教育室】
合同事業の講座数	講座	10	10	A	受講生の講座満足度	%	97	97	A	いわて進学支援ネットワーク事業費(いわて進学支援ネットワーク事業費)【学校教育室】
探究的な学習を実施した高校数	校	9	9	A	課題解決のためにデータを活用した生徒の割合	%	100	87	B	いわて進学支援ネットワーク事業費(探究・STEAM教育推進事業費)【学校教育室】
指導力向上研修回数	回	2	2	A	指導力向上研修を受講した教員数	人	60	60	A	指導運営費(原子力・エネルギー教育支援事業費)【学校教育室】
進学支援事業実施高校数	校	7	7	A	進学支援事業の成果があった学校の割合(評価ランクB以上の学校の割合)	%	100	100	A	県立学校復興担い手育成支援事業費【学校教育室】
就職等支援事業実施高校数	校	14	14	A	就職等支援事業の成果があった学校の割合(評価ランクB以上の学校の割合)	%	100	100	A	
非常勤事務職員配置人数	人	2	2	A	非常勤事務職員配置により、SSH事業を効果的に実施した高等学校数	校	2	2	A	指導運営費(スーパーサイエンスハイスクール支援事業費)【学校教育室】
魅力ある学校づくりを実施した高校数	校	63	63	A	事業目的の成果があった高校の割合(評価ランクB以上の高校の割合)	%	100	100	A	いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業費(探究共創事業費)【学校教育室】
					協議体(魅力化コンソーシアム)を設置している高校(分校を含む)の割合	%	85.7	82.8	B	
(公財)岩手育英奨学会に対する補助	法人	1	1	A	申請対象者への貸与率	%	100	100	A	高校奨学事業費補助(大学等進学支援)【教育企画室】
人権教育研究指定校数	校	1	1	A	人権教育リーフレット配布数	部	1,200	1,200	A	指導運営費(人権教育研究推進事業費)【学校教育室】
道徳の指導力向上に関する研修会の回数	回	5	5	A	道徳の指導力向上に関する研修会への参加教員数	人	130	159	A	指導運営費(道徳教育推進事業費)【学校教育室】

【Ⅲ 教育】70事業（再掲29事業を除く）

番号	部局名	区分	コロナ 関連	計画 関連	事業名	令和5年度						繰越額 (千円)
						最終予算額 (千円)	決算額 (千円)					
								国庫	その他	県債	一般	
② 学校・家庭・地域が連携した体験活動の推進などを通じた豊かな心の育成												
(1-117)	教委	再		総	生涯学習推進費(子どもの読書活動推進事業費)【生涯学習文化財課】	(271)	(215)	(0)	(0)	(0)	(215)	(0)
3-14	教委			総	教職員人事管理費(学校図書館利用促進事業費)【教職員課】	300	300	0	0	0	300	0
③ 学校における文化芸術教育の推進												
3-16	教委			復・総	高等学校文化活動支援事業費【学校教育室】	9,000	9,000	0	0	0	9,000	0
3-17	教委			総	岩手県中学校文化連盟補助【学校教育室】	1,400	1,320	0	0	0	1,320	0
3-18	教委			復・総	いわての学び希望基金被災地児童生徒文化活動支援費補助【学校教育室】	3,808	2,325	0	2,325	0	0	0
(3-24)	教委	再		総	教職員人事管理費(部活動指導員配置事業費)【保健体育課】	(52,779)	(45,122)	(11,769)	(0)	(0)	(33,353)	(0)
④ 主権者教育などによる社会に参画する力の育成												
(3-13)	教委	再		総	指導運営費(道徳教育推進事業費)【学校教育室】	(1,951)	(1,623)	(1,623)	(0)	(0)	(0)	(0)
13 【体育】児童生徒の健やかな体を育みます												
① 児童生徒の健康の保持・増進に向けた対策の充実												
3-19	教委			総	指導運営費(武道等指導充実・資質向上支援事業費)【保健体育課】	1,788	1,631	1,631	0	0	0	0
3-20	教委			総	60プラスプロジェクト推進事業費【保健体育課】	1,799	1,472	0	0	0	1,472	0
3-21	教委			総	指導運営費(がん教育総合支援事業費)【保健体育課】	542	484	0	484	0	0	0
3-22	教委			総	夜間定時制高等学校給食費【保健体育課】	14	0	0	0	0	0	0
3-23	教委			復・総	児童生徒放射線対策支援事業費【保健体育課】	1,344	584	0	0	0	584	0
② 適切な部活動体制の推進												
3-24	教委			総	教職員人事管理費(部活動指導員配置事業費)【保健体育課】	52,779	45,122	11,769	0	0	33,353	0
3-25	教委			復・総	いわての学び希望基金被災地生徒運動部活動支援事業費(いわての学び希望基金被災地生徒運動部活動支援費補助)【保健体育課】	25,518	15,626	0	15,626	0	0	0
3-26	教委			総	岩手県高等学校体育連盟強化事業費補助【保健体育課】	49,686	45,877	0	0	0	45,877	0
3-27	教委			総	岩手県中学校体育連盟強化事業費補助【保健体育課】	25,315	24,703	0	0	0	24,703	0
(1-110)	教委	再		総	運動部活動地域連携推進事業費【保健体育課】	(962)	(512)	(0)	(99)	(0)	(413)	(0)

活動内容指標					成果指標					事業名
指標名	単位	令和5年度			指標名	単位	令和5年度			
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度	
読書ボランティア研修会の開催回数	回	7	7	A	小学校における読書ボランティア活用割合	%	88.0	79.6	B	生涯学習推進費(子どもの読書活動推進事業費)【生涯学習文化財課】
子どもの読書活動推進委員会開催回数	回	2	2	A	小学生(5年生)の1か月の平均読書冊数	冊	17.2	17.1	B	
					中学生(2年生)の1か月の平均読書冊数	冊	5.0	4.8	B	
					高校生(2年生)の1か月の平均読書冊数	冊	2.2	2.2	A	
司書教諭講習の受講者数	人	5	5	A	司書教諭資格の取得割合	%	100	100	A	教職員人事管理費(学校図書館利用促進事業費)【教職員課】
セミナーサポート事業回数	回	26	25	B	全国高総文祭団体入賞数	団体	2	3	A	高等学校文化活動支援事業費【学校教育室】
					全国高総文祭個人入賞者数	人	2	2	A	
県中総文祭実施回数	回	1	1	A	全国中文祭派遣団体数	団体	1	1	A	岩手県中学校文化連盟補助【学校教育室】
					全国中文祭派遣個人数	人	25	20	B	
文化活動支援補助団体数	団体	3	3	A	中文祭参加補助者数	人	32	47	A	いわての学び希望基金被災地児童生徒文化活動支援費補助【学校教育室】
					高文祭参加補助者数	人	99	99	A	
県立学校(県立中学校を含む)への部活動指導員配置校数	校	64	47	C	教員の負担軽減が図られたと回答した学校の割合	%	100	100	A	教職員人事管理費(部活動指導員配置事業費)【保健体育課】
道徳の指導力向上に関する研修会の回数	回	5	5	A	道徳の指導力向上に関する研修会への参加教員数	人	130	159	A	指導運営費(道徳教育推進事業費)【学校教育室】
派遣要請校数に対する派遣実施校の割合	%	100	100	A	教員にとって指導の参考となる内容であったと回答した学校の割合	%	100	100	A	指導運営費(武道等指導充実・資質向上支援事業費)【保健体育課】
運動習慣、食習慣、生活習慣改善の一体的取り組みを実践している学校表彰の回数	回	1	1	A	運動習慣、食習慣、生活習慣改善の一体的取り組みを実践している学校表彰の校数	校	14	16	A	60プラスプロジェクト推進事業費【保健体育課】
新チャレンジカードの配布校数	校	302	284	B	新チャレンジカードを活用している学校の割合	%	100	75.7	C	
ICTを活用した保健管理等に関するWGの開催回数	回	5	1	D	ICTを活用した保健管理等に関する研究案件数	件	2	1	D	
岩手県学校保健研修会の開催日数	日	1	1	A	「がん教育指導者向けマニュアル」を授業等に活用している学校の割合	%	100	100	A	指導運営費(がん教育総合支援事業費)【保健体育課】
-	-	-	-	-	対象生徒への給与割合	%	100	-	-	夜間定時制高等学校給食費【保健体育課】
放射能モニタリング実施校数	校	83	82	B	測定の結果、基準値を超えない割合	%	100	100	A	児童生徒放射線対策支援事業費【保健体育課】
県立学校(県立中学校を含む)への部活動指導員配置校数	校	64	47	C	教員の負担軽減が図られたと回答した学校の割合	%	100	100	A	教職員人事管理費(部活動指導員配置事業費)【保健体育課】
大会出場補助申請者数に対する補助者数の割合	%	100	100	A	-	-	-	-	-	いわての学び希望基金被災地生徒運動部活動支援事業費(いわての学び希望基金被災地生徒運動部活動支援費補助)【保健体育課】
申請対象団体への補助率	%	100	100	A	全国大会等派遣、強化事業実施の競技数	競技	32	33	A	岩手県高等学校体育連盟強化事業費補助【保健体育課】
申請対象団体への補助率	%	100	100	A	全国大会等派遣、強化事業実施の競技数	競技	19	17	B	岩手県中学校体育連盟強化事業費補助【保健体育課】
検討(運営)会議の開催	回	2	4	A	実践研究対象部活動数	部	6	9	A	運動部活動地域連携推進事業費【保健体育課】

【Ⅲ 教育】70事業（再掲29事業を除く）

番号	部局名	区分	コロナ 関連	計画 関連	事業名	令和5年度						繰越額 (千円)
						最終予算額 (千円)	決算額 (千円)					
								国庫	その他	県債	一般	
3-48	教委	再			教職員人事管理費(再発防止岩手モデル推進事業費) 【教職員課】	(3,192)	(2,796)	(0)	(0)	(0)	(2,796)	(0)
14 共に学び、共に育つ特別支援教育を進めます												
① 就学前から卒業後までの一貫した支援の充実												
3-57	教委	再		総	教職員費(障がい者雇用校務補助員配置事業費) 【教職員課】	(99,158)	(98,090)	(0)	(511)	(0)	(97,579)	(0)
3-58	教委	再		総	管理運営費(障がい者雇用校務補助員配置事業費) 【教職員課】	(9,414)	(8,931)	(0)	(46)	(0)	(8,885)	(0)
3-28	教委			総	特別支援教育推進事業費(特別支援学校キャリア教育 推進事業費) 【学校教育室】	11,481	11,270	0	10,646	0	624	0
② 各校種における指導・支援の充実												
3-29	教委			総	特別支援教育推進事業費(特別支援教育かがやきプ ラン推進事業費) 【学校教育室】	47,803	47,446	0	118	0	47,328	0
③ 教育環境の充実・県民理解の促進												
3-30	教委			総	特別支援教育推進事業費(いわて特別支援教育推進 プラン実践事業費) 【学校教育室】	382	342	0	0	0	342	0
3-31	教委			総	特別支援教育推進事業費(特別支援学校医療的ケア 体制整備事業費) 【学校教育室】	82,514	79,675	26,457	260	0	52,958	0
3-98	教委				施設整備費(特別支援学校整備事業費) 【教育企画室】	81,872	5,441	0	0	4,000	1,441	76,419
15 いじめ問題などに適切に対応し、一人ひとりがお互いを尊重する学校をつくります												
① いじめ防止対策の推進といじめ事案への適切な対処												
3-3	教委	再		総	教職員研修費(中堅教諭等資質向上研修・ステージ アップ研修費) 【学校教育室】	(2,641)	(2,639)	(0)	(923)	(0)	(1,716)	(0)
3-32	教委			総	いじめ不登校対策事業費(いじめ不登校対策事業費) 【学校教育室】	11,003	8,355	1,736	18	0	6,601	0
② 児童生徒に寄り添った教育相談体制の充実等による、不登校対策の推進												
3-33	教委			復・総	児童生徒健全育成推進費(スクールソーシャルワー カー(SSW)配置事業費) 【学校教育室】	31,971	31,489	22,558	0	0	8,931	0
3-34	教委			復・総	児童生徒健全育成推進費(スクールカウンセラー等 配置事業費) 【学校教育室】	290,715	281,155	167,818	450	0	112,887	0
3-35	教委			総	児童生徒健全育成推進費(24時間いじめ相談ダイヤル 事業費) 【学校教育室】	3,628	3,553	1,184	0	0	2,369	0
3-52	教委	再		総	いじめ不登校対策事業費(不登校等対策推進事業費 補助) 【学校教育室】	(11,003)	(8,355)	(1,736)	(18)	(0)	(6,601)	(0)
③ デジタル社会における児童生徒の健全育成に向けた対策の推進												
3-3	教委	再		総	教職員研修費(中堅教諭等資質向上研修・ステージ アップ研修費) 【学校教育室】	(2,641)	(2,639)	(0)	(923)	(0)	(1,716)	(0)
16 児童生徒が安全に学ぶことができる教育環境の整備や教職員の資質の向上を進めます												
① 安全でより良い教育環境の整備												
3-36	教委			総	指導運営費(地域ぐるみの学校安全体制整備推進事 業費) 【保健体育課】	2,231	2,113	1,051	0	0	1,062	0
3-37	教委			総	こどもの安心・安全対策費 【保健体育課】	73,880	29,813	25,072	4,741	0	0	0

活動内容指標					成果指標					事業名
指標名	単位	令和5年度			指標名	単位	令和5年度			
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度	
再発防止に向けた取組回数	回	13	13	A	研修の成果があったとする受講者の割合	%	100	100	A	教職員人事管理費(再発防止岩手モデル推進事業費)【教職員課】
校務補助員の配置人数	人	38	38	A	障がい者の実雇用率	%	2.5	2.53	A	教職員費(障がい者雇用校務補助員配置事業費)【教職員課】
校務補助員の配置人数	人	4	4	A	障がい者の実雇用率	%	2.5	2.53	A	管理運営費(障がい者雇用校務補助員配置事業費)【教職員課】
企業との連携協議会対象校数	校	5	5	A	現場実習及び企業との連携協議会を実施した対象校の割合	%	100	100	A	特別支援教育推進事業費(特別支援学校キャリア教育推進事業費)【学校教育室】
職業指導支援員の配置及び企業との連携協議会の設置校数	校	5	5	A	企業での現場実習の実施回数	回	10	10	A	
支援員配置人数	人	34	34	A	支援員の配置により成果のあった学校の割合	%	100	100	A	特別支援教育推進事業費(特別支援教育かがやきプラン推進事業費)【学校教育室】
巡回相談をした特別支援学校数	校	15	15	A	◆巡回相談要請への対応率	%	100	100	A	特別支援教育推進事業費(いわて特別支援教育推進プラン実践事業費)【学校教育室】
教員研修の場の提供及び合同研修会の開催回数	回	70	70	A	特別支援学校の学校公開研究会等の参加人数	人	1,800	1,797	B	
看護師等研修会の開催	回	1	1	A	看護師等研修会への参加率	%	100	100	A	特別支援教育推進事業費(特別支援学校医療的ケア体制整備事業費)【学校教育室】
看護師の配置率	%	100	100	A	◆看護師による医療的ケアの実施割合	%	100	100	A	
県立学校(特別支援学校)の校舎整備実施施設数	施設	1	1	A	県立学校(特別支援学校)の校舎整備完了施設数	施設	-	-	-	施設整備費(特別支援学校整備事業費)【教育企画室】
実施する研修の回数	回	13	13	A	研修の成果があったとする受講者の割合	%	100	99	B	教職員研修費(中堅教諭等資質向上研修・ステージアップ研修費)【学校教育室】
いじめ問題に関する研修会開催回数	回	13	11	B	研修会へ教員を参加させた学校の割合	%	100	100	A	
県いじめ問題対策連絡協議会の開催回数	回	2	2	A	「いじめ対応・不登校支援等アドバイザー」に相談のあった、いじめ事案及び不登校支援への対応率	%	100	100	A	いじめ不登校対策事業費(いじめ不登校対策事業費)【学校教育室】
スクールソーシャルワーカーの配置人数	人	16	16	A	◆相談希望への対応率	%	100	100	A	児童生徒健全育成推進費(スクールソーシャルワーカー(SSW)配置事業費)【学校教育室】
小学校のスクールカウンセラー配置・対応校数	校	138	138	A	◆相談希望への対応率	%	100	100	A	児童生徒健全育成推進費(スクールカウンセラー等配置事業費)【学校教育室】
中学校のスクールカウンセラー配置校数	校	145	144	B						
電話相談窓口の設置・運営	箇所	3	3	A	◆相談希望への対応率	%	100	100	A	児童生徒健全育成推進費(24時間いじめ相談ダイヤル事業費)【学校教育室】
携帯カードの作成枚数	枚	137,800	134,500	B						
教育支援センターの設置等に係る配置職員への補助件数	件	12	2	D	教育支援センターを設置済みの市町村数	市町村	24	23	B	いじめ不登校対策事業費(不登校等対策推進事業費補助)【学校教育室】
実施する研修の回数	回	13	13	A	研修の成果があったとする受講者の割合	%	100	99	B	教職員研修費(中堅教諭等資質向上研修・ステージアップ研修費)【学校教育室】
スクールガード・リーダー養成講習会の開催	回	2	2	A	講習会参加者数	人	33	42	A	指導運営費(地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費)【保健体育課】
県立特別支援学校スクールバスの安全装置整備台数	台	16	16	A	県立特別支援学校スクールバスの安全装置整備率	%	100	100	A	こどもの安心・安全対策費【保健体育課】
-	-	-	-	-	申請のあった市町村への補助率	%	100	100	A	

【Ⅲ 教育】70事業（再掲29事業を除く）

番号	部局名	区分	コロナ 関連	計画 関連	事業名	令和5年度						
						最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	繰越額				
								国庫	その他	県債	一般	
3-38	教委			復・総	学校安全総合支援事業費(学校安全総合支援事業費) 【学校教育室】	3,460	3,089	3,089	0	0	0	0
3-39	教委				校舎建設事業費(屋内運動場整備事業) 【教育企画室(施設)】	128,794	123,354	0	0	111,000	12,354	5,300
3-40	教委				校舎大規模改造事業費(校舎大規模改造事業費) 【教育企画室】	1,032,723	966,166	0	40,665	777,100	148,401	62,172
3-41	教委				理科教育設備整備費【教育企画室】	9,461	9,461	4,712	0	0	4,749	0
3-42	教委				産業教育設備整備費【教育企画室】	18,562	18,562	0	0	0	18,562	0
3-43	教委				部活動設備整備費【教育企画室】	5,491	5,489	0	0	0	5,489	0
3-44	教委				情報処理教育設備整備費【教育企画室】	162,912	162,912	0	0	0	162,912	0
3-45	教委				校舎建設事業費(校舎改築事業) 【教育企画室】	575,258	230,740	0	230,740	0	0	261,652
3-46	教委				校舎大規模改造事業費(屋内運動場大規模改造事業) 【教育企画室】	299,313	299,295	0	0	267,000	32,295	0
3-47	教委			総	高等学校教育改革推進費(新しい県立高等学校整備 計画策定等事業費) 【学校教育室】	14,970	14,716	0	34	0	14,682	0
② 魅力ある学校づくりの推進												
(2-57)	教委	再		総	いわて地域学校連携促進事業費【生涯学習文化財課】	(239)	(236)	(0)	(0)	(0)	(236)	(0)
(2-58)	教委	再		総	指導運営費(県立学校コミュニティ・スクール推進事業 費) 【学校教育室】	(1,936)	(1,419)	(0)	(0)	(0)	(1,419)	(0)
3-49	教委			総	いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業費(ネット ワーク共創事業費) 【学校教育室】	14,158	13,969	6,972	25	0	6,972	0
3-50	教委			総	いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業費(探究共 創事業費) 【学校教育室】	11,937	10,705	5,352	0	0	5,353	0
3-51	教委			総	指導運営費(特色・魅力あるカリキュラム調査事業費) 【学校教育室】	5,550	5,208	5,208	0	0	0	0
(3-5)	教委	再		総	遠隔教育ネットワーク構築事業費【学校教育室】	(2,475)	(2,268)	(2,268)	(0)	(0)	(0)	(0)
③ 多様な教育ニーズに対応する教育機会の確保												
(3-35)	教委	再		総	児童生徒健全育成推進費(24時間いじめ相談ダイヤル 事業費) 【学校教育室】	(3,628)	(3,553)	(1,184)	(0)	(0)	(2,369)	(0)
3-52	教委				いじめ不登校対策事業費(不登校等対策推進事業費 補助) 【学校教育室】	11,003	8,355	1,736	18	0	6,601	0
④ 教育への情熱と高い志を持つ有為な人材の確保・育成、資質向上												
3-53	教委				すこやかサポート推進事業費【教職員課】	74,407	74,055	21,063	376	0	52,616	0
3-54	教委				教職員人事管理費(教職員の健康確保推進事業費) 【教職員課】	298	216	0	0	0	216	0
3-55	教委				教職員費(学校生活サポート推進事業費) 【教職員課】	71,848	71,429	20,428	365	0	50,636	0

活動内容指標					成果指標					事業名
指標名	単位	令和5年度			指標名	単位	令和5年度			
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度	
学校防災アドバイザー派遣校数	校	35	43	A	避難訓練や危機管理マニュアルの見直しを行った学校数	校	50	25	D	学校安全総合支援事業費(学校安全総合支援事業費) 【学校教育室】
防災教育研修会の開催回数	回	1	1	A	研修受講者の理解度	%	80	96	A	
県立学校の屋内運動場整備実施施設数	施設	1	1	A	県立学校の屋内運動場整備完了施設数	施設	-	-	-	校舎建設事業費(屋内運動場整備事業)【教育企画室(施設)】
県立学校の長寿命化改良・大規模改造実施施設数	施設	1	1	A	県立学校の長寿命化改良・大規模改造完了施設数	施設	-	-	-	校舎大規模改造事業費(校舎大規模改造事業費)【教育企画室】
-	-	-	-	-	理科教育設備整備学校数	校	11	11	A	理科教育設備整備費【教育企画室】
-	-	-	-	-	産業教育設備整備学校数	校	18	18	A	産業教育設備整備費【教育企画室】
-	-	-	-	-	部活動設備整備学校数	校	14	14	A	部活動設備整備費【教育企画室】
-	-	-	-	-	情報処理教育設備整備学校数	校	16	16	A	情報処理教育設備整備費【教育企画室】
県立学校の校舎改築実施施設数	施設	2	2	A	県立学校の校舎改築完了施設数	施設	-	-	-	校舎建設事業費(校舎改築事業)【教育企画室】
県立学校の屋内運動場大規模改造実施施設数	施設	4	4	A	県立学校の屋内運動場大規模改造完了施設数	施設	2	2	A	校舎大規模改造事業費(屋内運動場大規模改造事業)【教育企画室】
高校の魅力向上に向けた意見交換会の回数	回	5	5	A	高校の魅力向上に向け意見交換を行う地域	地区	2	2	A	高等学校教育改革推進費(新しい県立高等学校整備計画策定等事業費)【学校教育室】
					高校の魅力向上に向けた意見交換会参加者数	人	31	30	B	
地域とともにある学校づくり推進フォーラム開催回数	回	6	6	A	地域とともにある学校づくり推進フォーラム参加者数	人	600	717	A	いわて地域学校連携促進事業費【生涯学習文化財課】
-	-	-	-	-	コミュニティ・スクール導入校	校	31	30	B	指導運営費(県立学校コミュニティ・スクール推進事業費)【学校教育室】
魅力化フォーラムの開催回数	回	1	1	A	高校魅力化の取組を情報発信した高校数	校	63	63	A	いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業費(ネットワーク共創事業費)【学校教育室】
魅力ある学校づくりを実施した高校数	校	63	63	A	事業目的の成果があった高校の割合(評価ランクB以上の高校の割合)	%	100	100	A	いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業費(探究共創事業費)【学校教育室】
					協議体(魅力化コンソーシアム)を設置している高校(分校を含む)の割合	%	85.7	82.8	B	
コンソーシアム会議の開催回数	回	3	3	A	運営指導委員会開催数	回	2	2	A	指導運営費(特色・魅力あるカリキュラム調査事業費)【学校教育室】
遠隔教育に向けて取り組んだ県立高校数	校	5	5	A	遠隔教育を実施した科目の延べ数	科目	11	11	A	遠隔教育ネットワーク構築事業費【学校教育室】
電話相談窓口の設置・運営	箇所	3	3	A	◆相談希望への対応率	%	100	100	A	児童生徒健全育成推進費(24時間いじめ相談ダイヤル事業費)【学校教育室】
携帯カードの作成校数	枚	137,800	134,500	B						
教育支援センターの設置等に係る配置職員への補助件数	件	12	2	D	教育支援センターを設置済みの市町村数	市町村	24	23	B	いじめ不登校対策事業費(不登校等対策推進事業費補助)【学校教育室】
小学校で30人を超える学級を有し、少人数加配のない学校への非常勤講師配置率	%	100	100	A	学習指導面での改善率	%	90	89	B	すこやかサポート推進事業費【教職員課】
市町村立小・中・義務教育学校安全衛生管理研修会の開催回数	回	4	4	A	市町村教委の労働安全衛生体制の整備数(学校の多忙化解消を話し合う場(包括的な衛生委員会等)の設置)	市町村	33	29	B	教職員人事管理費(教職員の健康確保推進事業費)【教職員課】
生徒指導面の課題に重点的に取り組む必要がある学校への非常勤講師等配置率	%	100	100	A	生徒指導面での改善率	%	85	83	B	教職員費(学校生活サポート推進事業費)【教職員課】

【Ⅲ 教育】70事業（再掲29事業を除く）

番号	部局名	区分	コロナ 関連	計画 関連	事業名	令和5年度						
						最終予算額 (千円)	決算額 (千円)					繰越額 (千円)
								国庫	その他	県債	一般	
3-56	教委				教職員人事管理費(スクールサポートスタッフ配置事業費)【教職員課】	12,867	12,827	2,932	65	0	9,830	0
3-57	教委				教職員費(障がい者雇用校務補助員配置事業費)【教職員課】	99,158	98,087	0	511	0	97,576	0
3-58	教委				管理運営費(障がい者雇用校務補助員配置事業費)【教職員課】	9,414	8,931	0	46	0	8,885	0
3-59	教委			復	教職員人事管理費(被災教職員健康管理支援事業費)【教職員課】	3,126	3,110	3,095	15	0	0	0
3-60	教委				教職員人事管理費(幼稚園教諭免許取得支援事業費補助)【教職員課】	120	0	0	0	0	0	0
3-48	教委				教職員人事管理費(再発防止岩手モデル推進事業費)【教職員課】	3,192	2,796	0	0	0	2,796	0
18 地域に貢献する人材を育てます												
① 「いわての復興教育」などの推進												
(3-38)	教委	再		復・総	学校安全総合支援事業費(学校安全総合支援事業費)【学校教育室】	(3,460)	(3,089)	(3,089)	(0)	(0)	(0)	(0)
3-63	教委			復・総	いわての復興教育推進事業費【学校教育室】	36,261	33,827	0	33,827	0	0	0
(3-50)	教委	再		総	いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業費(探究共創事業費)【学校教育室】	(11,937)	(10,705)	(5,352)	(0)	(0)	(5,353)	(0)
(3-10)	教委	再		復・総	県立学校復興担い手育成支援事業費【学校教育室】	(16,490)	(14,847)	(0)	(14,847)	(0)	(0)	(0)
② キャリア教育の推進とライフデザイン能力の育成												
3-64	教委			総	キャリアアップサポート推進事業費補助【学校教育室】	1,000	1,000	0	0	0	1,000	0
(3-50)	教委	再		総	いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業費(探究共創事業費)【学校教育室】	(11,937)	(10,705)	(5,352)	(0)	(0)	(5,353)	(0)
(3-10)	教委	再		復・総	県立学校復興担い手育成支援事業費【学校教育室】	(16,490)	(14,847)	(0)	(14,847)	(0)	(0)	(0)
3-65	教委				産業教育実習船代船建造費【教育企画室】	2,807,636	828,928	164,236	724	663,000	968	1,978,420
③ ものづくり産業人材の育成・確保・定着												
(3-10)	教委	再		復・総	県立学校復興担い手育成支援事業費【学校教育室】	(16,490)	(14,847)	(0)	(14,847)	(0)	(0)	(0)
3-70	教委			総	指導運営費(理数系人材育成事業費)【学校教育室】	222	221	0	165	0	56	0
⑥ デジタル人材の育成												
(3-8)	教委	再		総	いわて進学支援ネットワーク事業費(探究・STEAM教育推進事業費)【学校教育室】	(15,511)	(14,527)	(0)	(0)	(0)	(14,527)	(0)

活動内容指標					成果指標					事業名
指標名	単位	令和5年度			指標名	単位	令和5年度			
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度	
スクールサポートスタッフの配置人数	人	7	7	A	業務支援体制を整備し負担軽減の効果があつた学校の割合	%	100	100	A	教職員人事管理費(スクールサポートスタッフ配置事業費)【教職員課】
校務補助員の配置人数	人	38	38	A	障がい者の実雇用率	%	2.5	2.53	A	教職員費(障がい者雇用校務補助員配置事業費)【教職員課】
校務補助員の配置人数	人	4	4	A	障がい者の実雇用率	%	2.5	2.53	A	管理運営費(障がい者雇用校務補助員配置事業費)【教職員課】
保健師等による巡回相談(沿岸南部教育事務所管内小中学校)対応校数	校	46	46	A	相談希望への対応率	%	100	100	A	教職員人事管理費(被災教職員健康管理支援事業費)【教職員課】
事業の推進に向けた周知(HPIによる紹介)回数	回	1	1	A	幼稚園教諭免許状取得率	%	100	-	-	教職員人事管理費(幼稚園教諭免許取得支援事業費補助)【教職員課】
再発防止に向けた取組回数	回	13	13	A	研修の成果があつたとする受講者の割合	%	100	100	A	教職員人事管理費(再発防止岩手モデル推進事業費)【教職員課】
学校防災アドバイザー派遣校数	校	35	43	A	避難訓練や危機管理マニュアルの見直しを行った学校数	校	50	25	D	学校安全総合支援事業費(学校安全総合支援事業費)【学校教育室】
防災教育研修会の開催回数	回	1	1	A	研修受講者の理解度	%	80	96	A	
いわての復興教育実施校の割合	%	100	100	A	取組のねらいを達成した学校の割合	%	100	100	A	いわての復興教育推進事業費【学校教育室】
魅力ある学校づくりを実施した高校数	校	63	63	A	事業目的の成果があつた高校の割合(評価ランクB以上の高校の割合)	%	100	100	A	いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業費(探究共創事業費)【学校教育室】
					協議体(魅力化コンソーシアム)を設置している高校(分校を含む)の割合	%	85.7	82.8	B	
進学支援事業実施高校数	校	7	7	A	進学支援事業の成果があつた学校の割合(評価ランクB以上の学校の割合)	%	100	100	A	県立学校復興担い手育成支援事業費【学校教育室】
就職等支援事業実施高校数	校	14	14	A	就職等支援事業の成果があつた学校の割合(評価ランクB以上の学校の割合)	%	100	100	A	
キャリアアップ講座やキャリアアップ体験活動等の事業を活用して、キャリア教育を行った学校数	校	15	15	A	キャリアアップ講座やキャリアアップ体験活動等の取組のねらいを達成した学校の割合	%	100	100	A	キャリアアップサポート推進事業費補助【学校教育室】
魅力ある学校づくりを実施した高校数	校	63	63	A	事業目的の成果があつた高校の割合(評価ランクB以上の高校の割合)	%	100	100	A	いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業費(探究共創事業費)【学校教育室】
					協議体(魅力化コンソーシアム)を設置している高校(分校を含む)の割合	%	85.7	82.8	B	
進学支援事業実施高校数	校	7	7	A	進学支援事業の成果があつた学校の割合(評価ランクB以上の学校の割合)	%	100	100	A	県立学校復興担い手育成支援事業費【学校教育室】
就職等支援事業実施高校数	校	14	14	A	就職等支援事業の成果があつた学校の割合(評価ランクB以上の学校の割合)	%	100	100	A	
実習船の代船建造実施隻数	隻	1	1	A	実習船の代船建造完了隻数	隻	-	-	-	産業教育実習船代船建造費【教育企画室】
進学支援事業実施高校数	校	7	7	A	進学支援事業の成果があつた学校の割合(評価ランクB以上の学校の割合)	%	100	100	A	県立学校復興担い手育成支援事業費【学校教育室】
就職等支援事業実施高校数	校	14	14	A	就職等支援事業の成果があつた学校の割合(評価ランクB以上の学校の割合)	%	100	100	A	
科学の甲子園ジュニア県大会実施回数	回	1	1	A	科学の甲子園ジュニア県大会に参加した中学校数	校	12	11	B	指導運営費(理数系人材育成事業費)【学校教育室】
探究的な学習を実施した高校数	校	9	9	A	課題解決のためにデータを活用した生徒の割合	%	100	87	B	いわて進学支援ネットワーク事業費(探究・STEAM教育推進事業費)【学校教育室】

【Ⅲ 教育】70事業（再掲29事業を除く）

番号	部局名	区分	コロナ 関連	計画 関連	事業名	令和5年度						繰越額 (千円)
						最終予算額 (千円)	決算額 (千円)					
								国庫	その他	県債	一般	
⑦ 科学技術の理解増進と次代を担う人材の育成												
(3-70)	教委	再		総	指導運営費(理数系人材育成事業費)【学校教育室】	(222)	(221)	(0)	(165)	(0)	(56)	(0)
(3-8)	教委	再		総	いわて進学支援ネットワーク事業費(探究・STEAM教育推進事業費)【学校教育室】	(15,511)	(14,527)	(0)	(0)	(0)	(14,527)	(0)
⑧ 岩手と世界をつなぐ人材の育成												
3-77	教委			総	外国青年招致事業費(外国語指導助手(ALT)招致事業費)【学校教育室】	74,381	73,407	0	364	0	73,043	0
3-78	教委			総	外国語教育推進事業費【学校教育室】	127,380	127,380	0	0	0	127,380	0
(3-1)	教委	再		総	中高連携学力向上推進事業費【学校教育室】	(1,554)	(1,366)	(0)	(0)	(0)	(1,366)	
3-79	教委			総	指導運営費(いわて高校生留学促進事業費)【学校教育室】	780	780	780	0	0	0	0
3-80	教委			総	雲南省教育交流推進事業費【学校教育室】	7,382	7,334	0	0	0	7,334	0
3-81	教委			総	いわての地域国際化人材育成事業費【学校教育室】	4,372	4,279	0	0	0	4,279	0
3-82	教委			復・総	日本の次世代リーダー養成塾派遣事業費【教育企画室】	1,150	1,150	0	150	0	1,000	0

活動内容指標				成果指標					事業名	
指標名	単位	令和5年度			指標名	単位	令和5年度			
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値		達成度
科学の甲子園ジュニア県大会実施回数	回	1	1	A	科学の甲子園ジュニア県大会に参加した中学校数	校	12	11	B	指導運営費(理数系人材育成事業費)【学校教育室】
探究的な学習を実施した高校数	校	9	9	A	課題解決のためにデータを利活用した生徒の割合	%	100	87	B	いわて進学支援ネットワーク事業費(探究・STEAM教育推進事業費)【学校教育室】
外国語指導助手(ALT)の招致人数	人	17	17	A	ALTを活用した県立学校数	校	19	19	A	外国青年招致事業費(外国語指導助手(ALT)招致事業費)【学校教育室】
外国語指導助手(NS)の派遣人数	人	23	23	A	NSを週1回以上活用した県立学校数	校	63	63	A	外国語教育推進事業費【学校教育室】
中高連携リーダー教員育成研修会開催回数	回	1	1	A	中高連携リーダー教員育成研修会への参加教員数	人	8	8	A	中高連携学力向上推進事業費【学校教育室】
留学支援実施回数	回	1	1	A	高校生派遣人数	人	10	13	A	指導運営費(いわて高校生留学促進事業費)【学校教育室】
派遣実施回数	回	1	1	A	中国雲南省への教員等派遣人数	人	4	4	A	雲南省教育交流推進事業費【学校教育室】
英検IBA実施学校の割合	%	100	100	A	英検IBAの結果を踏まえ、授業改善に取り組んだ中学校の割合	%	100	100	A	いわての地域国際化人材育成事業費【学校教育室】
イーハトーブ・キャンプの開催回数	回	2	2	A	イーハトーブキャンプ後、外国語や外国語活動において肯定的な変容が見られた児童生徒の割合	%	80	80	A	
被災生徒への参加費負担割合	%	100	100	A	-	-	-	-	-	日本の次世代リーダー養成塾派遣事業費【教育企画室】

【Ⅳ 居住環境・コミュニティ】再掲2事業

番号	部局名	区分	コロナ 関連	計画 関連	事業名	令和5年度						繰越額 (千円)
						最終予算額 (千円)	決算額 (千円)					
								国庫	その他	県債	一般	
26 文化芸術・スポーツを生かした地域をつくります												
① 文化芸術を生かした人的・経済的な交流の推進												
(1-119)	教委	再	コ	総	博物館管理運営費【生涯学習文化財課】	(376,362)	(372,404)	(6,353)	(43,821)	(0)	(322,230)	(0)
(1-120)	教委	再	コ	総	美術館管理運営費【生涯学習文化財課】	(455,333)	(454,843)	(11,810)	(75,416)	(0)	(367,617)	(0)

活動内容指標					成果指標					事業名
指標名	単位	令和5年度			指標名	単位	令和5年度			
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度	
企画展・テーマ展の開催回数	回	3	3	A	博物館入館者数	人	40,000	72,400	A	博物館管理運営費【生涯学習文化財課】
美術館における美術普及等のための講座の実施回数	回	45	46	A	美術館入館者数	人	59,000	74,555	A	美術館管理運営費【生涯学習文化財課】

【Ⅶ 歴史・文化】7事業（再掲1事業を除く）

番号	部局名	再掲	コロナ 関連	計画 関連	事業名	令和5年度						
						最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	繰越額				繰越額 (千円)
								国庫	その他	県債	一般	
40 世界遺産の保存と活用を進めます												
① 世界遺産の適切な保存管理と拡張登録の推進												
7-3	教委			総	文化財保護推進費(平泉文化研究機関整備推進事業費)【生涯学習文化財課】	4,000	4,000	0	0	0	4,000	0
7-4	教委			総	柳之御所遺跡整備調査事業費【生涯学習文化財課】	53,613	52,143	(13,082)	(9,512)	(0)	(29,549)	(0)
41 豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が受け継がれる環境をつくり、交流を広げます												
② 伝統文化、文化財などを活用した交流の推進												
7-9	教委			復・総	文化財保護推進費(被災ミュージアム再興事業費)【生涯学習文化財課】	415,086	410,373	205,186	0	0	205,187	0
7-10	教委			総	文化財保護推進費(文化財保護事業費)【生涯学習文化財課】	52,586	52,109	0	0	0	52,109	0
7-11	教委			総	文化財保護推進費(農業基盤整備関連埋蔵文化財発掘調査事業費)【生涯学習文化財課】	11,343	11,299	5,650	0	0	5,649	0
7-12	教委			総	文化財保護推進費(埋蔵文化財緊急発掘調査事業費補助)【生涯学習文化財課】	8,836	8,749	0	0	0	8,749	0
(7-4)	教委	再		総	柳之御所遺跡整備調査事業費【生涯学習文化財課】	(53,613)	(52,143)	(13,082)	(9,512)	(0)	(29,549)	(0)
7-13	教委			総	カモシカ特別対策費【生涯学習文化財課】	7,504	7,439	4,658	0	0	2,781	0

活動内容指標					成果指標					事業名
指標名	単位	令和5年度			指標名	単位	令和5年度			
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度	
平泉学フォーラムの開催回数	回	1	1	A	平泉学フォーラムの参加者数	人	420	350	B	文化財保護推進費(平泉文化研究機関整備推進事業費)【生涯学習文化財課】
研究年報の発行回数	回	1	1	A	-	-	-	-	-	
史跡整備に伴う発掘調査の実施面積	m ²	800	800	A	-	-	-	-	-	
被災資料の安定化処理及び修復を行う市町村への補助数	件	1	1	A	仮設収蔵庫整備数累計	棟	14	14	A	文化財保護推進費(被災ミュージアム再興事業費)【生涯学習文化財課】
文化財修理等への補助件数	件	18	17	B	-	-	-	-	-	文化財保護推進費(文化財保護事業費)【生涯学習文化財課】
農家負担分経費の負担(調査)件数	件	4	4	A	-	-	-	-	-	文化財保護推進費(農業基盤整備関連埋蔵文化財発掘調査事業費)【生涯学習文化財課】
市町村発掘調査の助成件数	件	17	16	B	-	-	-	-	-	文化財保護推進費(埋蔵文化財緊急発掘調査事業費補助)【生涯学習文化財課】
史跡整備に伴う発掘調査の実施面積	m ²	800	800	A	-	-	-	-	-	柳之御所遺跡整備調査事業費【生涯学習文化財課】
市町村への食害対策費補助	件	1	1	A	-	-	-	-	-	カモシカ特別対策費【生涯学習文化財課】

【IX 社会基盤】再掲1事業

番号	部局名	区分	コロナ 関連	計画 関連	事業名	令和5年度						繰越額 (千円)
						最終予算額 (千円)	決算額 (千円)					
								国庫	その他	県債	一般	
46 安全・安心を支える社会資本を整備します												
② 公共建築物等の耐震化による安全の確保												
(3-40)	教委	再			校舎大規模改造事業費(校舎大規模改造事業費)【教育企画室】	(1,032.723)	(966.166)	(0)	(40.665)	(777.100)	(148.401)	(62.172)

活動内容指標				成果指標					事業名	
指標名	単位	令和5年度			指標名	単位	令和5年度			
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値		達成度
県立学校の長寿命化改良・大規模改造実施設数	施設	1	1	A	県立学校の長寿命化改良・大規模改造完了施設数	施設	-	-	-	校舎大規模改造事業費(校舎大規模改造事業費)【教育企画室】

議案第20号

県立学校の設置及び廃止に関し議決を求めることについて

次のとおり県立学校の設置及び廃止をすることについて、議決を求める。

1 県立高等学校の設置

学校名	区 分	課程等	学 科	位 置
岩手県立南昌みらい高等学校		全日制	普通科	紫波郡矢巾町
		全日制	体育科	
岩手県立久慈翔北高等学校		全日制	電子機械科	久慈市及び九戸郡野田村
		全日制	工業科	
		全日制	建設環境科	
		全日制	総合学科	

2 県立高等学校の廃止

学校名	区 分	課程等	学 科	位 置
岩手県立盛岡南高等学校		全日制	普通科	盛岡市
		全日制	体育科	
岩手県立不来方高等学校		全日制	普通科	紫波郡矢巾町
岩手県立久慈東高等学校		全日制	総合学科	久慈市
岩手県立久慈工業高等学校		全日制	電子機械科	九戸郡野田村
		全日制	建設環境科	

3 設置及び廃止の時期

令和7年4月1日

令和6年8月19日提出

岩手県教育委員会教育長 佐藤 一 男

理由

県立学校の設置及び廃止をしようとするものである。これが、この議案を提出する理由である。

令和 7 年 度

県立学校の編制等について

岩手県教育委員会

令和7年度 県立高等学校の編制について

1 課程別・学科別募集学級数及び募集定員

令和7年度の課程別・学科別募集学級数及び募集定員の状況は、次の表のとおりである。

区 分		募集学級数			募集定員			
		6年度	7年度	差	6年度	7年度	差	
県立高等学校	全日制	普通科・理数科・体育科	124	121	▲3	4,960	4,840	▲120
		職業に関する学科	69	68	▲1	2,760	2,720	▲40
		総合学科	24	23	▲1	960	920	▲40
		小計	217	212	▲5	8,680	8,480	▲200
	定時制	普通科	13	13	0	520	520	0
		職業に関する学科	1	1	0	40	40	0
		小計	14	14	0	560	560	0
合計		231	226	▲5	9,240	9,040	▲200	

2 ブロック別募集学級数増減

令和7年度のブロック別募集学級数増減の状況は、次の表のとおりである。

ブロック	募集学級数 R6→R7	令和7年度募集学級数		学校名	令和6年度設置学科 及び募集学級数	令和7年度設置学科 及び募集学級数	令和7年度募集学級数増減		
		全日制	定時制				学 科	増	減
盛岡	73→70	65	5	盛岡南	普通 4 体育 1		普通 体育		▲4 ▲1
				不来方	普通 6		普通		▲6
				南昌みらい		普通 8	普通	8	
岩手中部	37→36	36	0	北上翔南	総合 5	総合 4	総合		▲1
胆江	23→23	21	2	(該当なし)					
両磐	23→23	22	1	(該当なし)					
気仙	14→14	13	1	(該当なし)					
釜石・遠野	15→15	14	1	(該当なし)					
宮古	17→17	16	1	(該当なし)					
久慈	16→15	13	2	久慈東	総合 5		総合		▲5
				久慈工業	電子機械 1 建設環境 1		電子機械 建設環境		▲1 ▲1
				久慈翔北		工業 1 総合 5	工業 総合	1 5	
二戸	13→13	12	1	(該当なし)					
合計	231 → 226	212	14				普通 普通・理数	8	▲10
				体育 農業 工業 商業 水産 家庭 総合 定時制		1	▲2		
							計	14	▲19

3 学科改編

令和7年度における学科改編はない。

4 学校再編

新たな県立高等学校再編計画で、令和7年度の改編を計画した県立高校の状況は、次の表のとおりである。

ブロック (位置)	学校名	現 行	改編内容	改編の目的
盛岡 (盛岡市及び 矢巾町) ※	南昌みらい高校	盛岡南高校 普 通 4 体 育 1 不来方高校 普 通 6	【統合】 南昌みらい高校 普 通 8	盛岡南高校、不来方高校を統合することにより、単位制及び総合選択制を取り入れ多様な学びを確保しながら、盛岡ブロックにおける特色ある教育を実践する大規模校を整備するものである。
久慈 (久慈市及び 野田村)	久慈翔北高校	久慈東高校 総 合 5 久慈工業高校 電子機械 1 建設環境 1	【統合】 久慈翔北高校 工 業 1 総 合 5	久慈東高校、久慈工業高校を統合することにより、工業の複数の学びの確保及び総合学科の多様な学びを維持しながら、久慈ブロックの専門教育の拠点となる学校を整備するものである。

※南昌みらい高校の位置は矢巾町

5 年次進行に伴う県立高等学校の分校、課程及び学科の廃止（岩手県立学校設置条例該当事項）

令和7年度における県立高等学校の分校、課程及び学科の廃止はない。

II 令和7年度 県立特別支援学校の編制について

令和7年度における県立特別支援学校の課程及び学科の変更はない。